



甲府まちなか 未来ビジョン 2024

2024年3月
甲府まちなかエリアプラットフォーム・甲府市

1. はじめに	3
・ ビジョンとは ・ 甲府まちなかエリアプラットフォームとは ・ 検討経緯 ・ ビジョンの概要 ・ 参考 妄想一覧 その①	
2. まちなかエリアについて	13
・ 甲府市の概要 ・ 対象範囲 ・ 現状と課題 ・ 「日常的な魅力」を生み出すポテンシャル ・ わたしたちは何をすべきか？ ・ 参考 妄想一覧 その②	
3. 目指す将来像	24
・ 目的地とそこへ至るルート ・ ビジョンのコンセプト ・ 実現するための戦略 ・ リーディングエリア候補 ・ ビジョンの全体骨格	
4. 実現に向けて	32
・ リーディングプロジェクト候補 ・ 今後の事業スケジュール（想定）	
5. おわりに	43
資料編	45

01

はじめに

甲府まちなか未来ビジョンとは

甲府のまちなか暮らしの魅力を高めるために、行政と民間が手を取り合ってつくるビジョン
2023年度に基本的な考え方を示し、2024年度にその考えに基づいた実践活動を踏まえて完成させる

ビジョンをつくる目的

まちなかの持つゆたかな資源や特性を活かした
甲府のまちなかならではの魅力的なライフスタイルを実現するために
行政と民間が連携して取り組むべき方向性を示すこと。

ビジョンをつくろうとした背景は？

まちなかは、様々な課題や転換期に直面している！

- ① 居住世代バランスの偏りや活力の低下、空き家・空き地等の増加など、**まちなかエリアの抱える様々な課題**の解決を図っていききたい！（くわしくはp.16-19）
- ② 新型コロナをきっかけとしてライフスタイルの多様化がはじまりつつあることや、リニア中央新幹線の開業は、**まちなかにとって大きな転換期**。だから今こそまちなかのあるべき方向性を見つけ、的確に舵取りをして転換期を乗り越えていききたい！

これまでの行政の計画や取り組みと何が違うの？

「公民連携」でつくっていくこと！

- ① **公（行政）と民（民間）のそれぞれの得意分野を持ち寄って実行していこう**という点が、今までの行政計画や民間団体への補助金支援などと異なる。行政だけでも、民間だけでもできなかったことを成し遂げることを目指す！
- ② まちなかに一過性の盛り上がりをつくるのではなく、**日々の暮らしの魅力を持続させていく**ための視点、つまり、「まちなかを運営する」視点でのマネジメントの方向性を示していく！

公民の連携はどうあるべきか？

公と民の連携は、それぞれの得意分野を持ち寄ることが重要です。それでは、それぞれの得意分野とは一体なんでしょうか？本ビジョンでは、以下のように整理をしました。このような得意分野の違いを生かして、公民の効果的な連携の促進を目指しています。

あるべき公民連携とは？

民の得意分野



- ✓ 魅力的なコンテンツづくり
「楽しい・面白い・かっこいい...」をつくるのは公より得意！
- ✓ 事業として運営していくこと
利益を再投資し、事業として継続的に運営することができる！



公の得意分野



- ✓ まちなかに多くの公共空間を持っている
広場や道路等の公共空間を民間が使えるよう支援ができる！
場合によっては、それらの整備ができる！
- ✓ 一時的な事業支援ができる
公益性のある事業には、立ち上げ時の社会実験等の費用を支出することができる！

日々の暮らしをずっと魅力的な状態にしていくためには・・・

- 民が事業主体となって自走するプロジェクトをつくる
- 公は民の自走化を支援し、併走していく

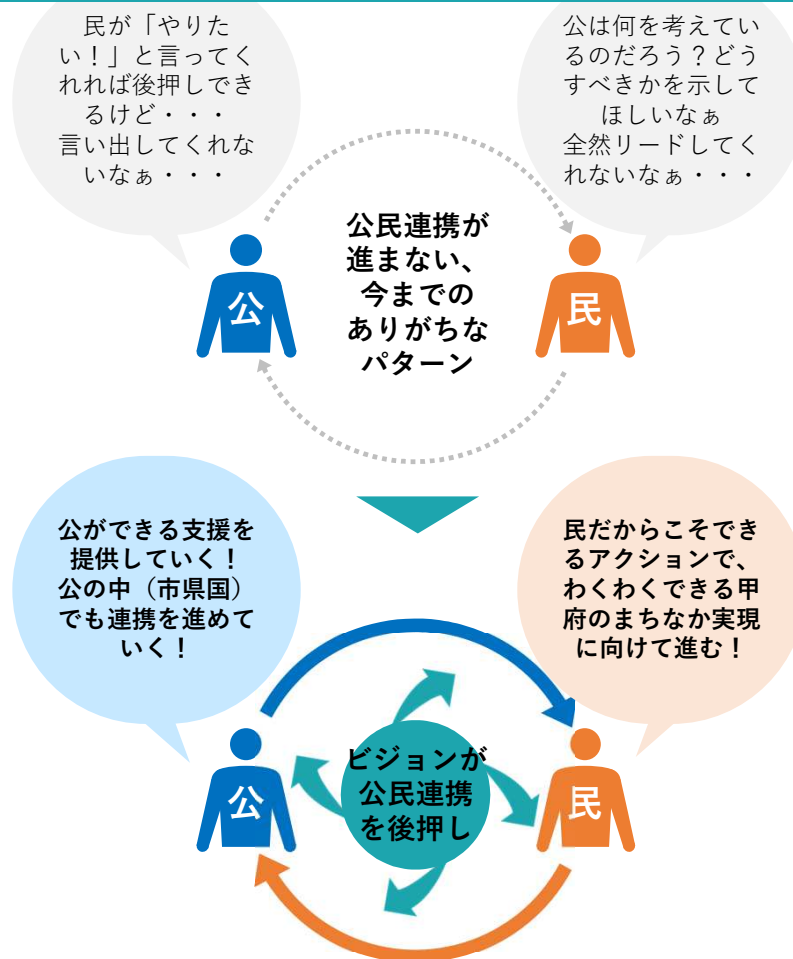
「民主導・公支援」の公民連携を！

公民連携の「公」「民」とは？

公：行政のこと。甲府市、山梨県、国機関などが該当。

民：パブリックマインドを持つ民間事業者のこと。
本ビジョンでは「プレイヤー」とも呼ぶ。

ビジョンで公民連携の後押しがしたい！



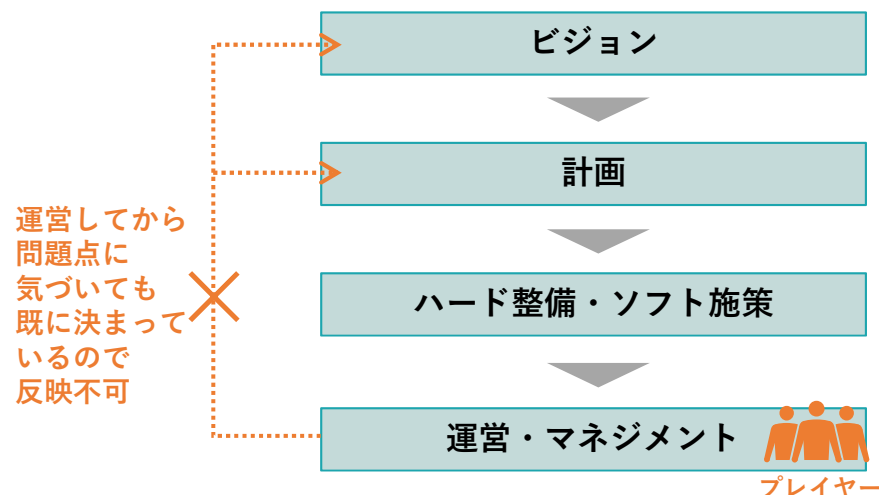
ビジョンのつくり方：プレイヤー視点でビジョンをつくる

まちなかの日々の暮らしの魅力を持続させるためには、事業として自走できるプロジェクトに仕立てていく必要があります。つまり、**まちなかの暮らしを魅力的にする場やコンテンツの運営・マネジメントがとても重要**になります。

そのため、本ビジョンづくりには、運営やマネジメントを担うプレイヤー（パブリックマインドを持った民間事業者）に参加してもらい、これらの**プレイヤーが「運営していきたい！」と思えるビジョン**を目指しました。今後は、社会実験を通じて運営の実現性を検証・改善しながら進めていきます。

従来の方法

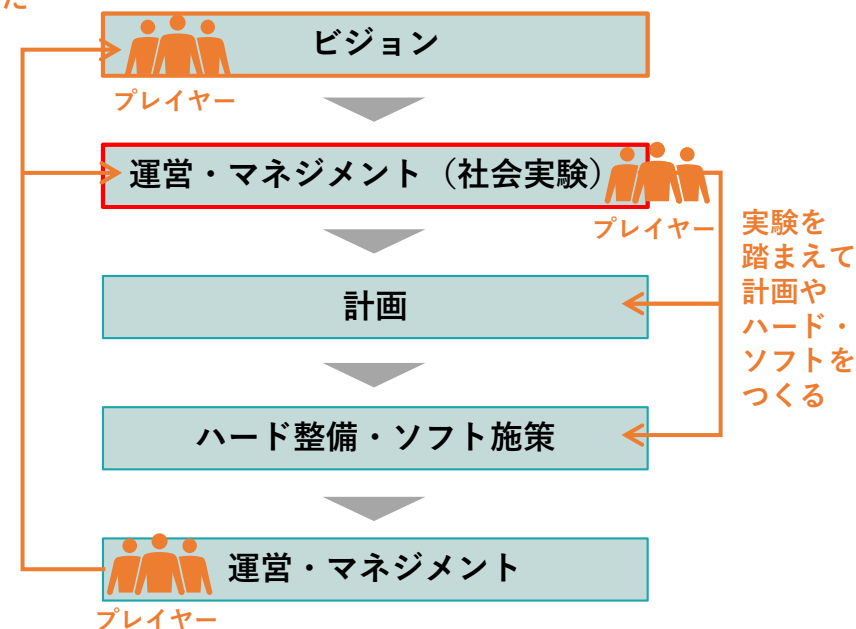
上から決まっていくので、実際に運営をしてみてもうまくいなくても計画や整備に反映できない



本ビジョンの方法

運営・マネジメントに関わるプレイヤーがビジョンづくりにも関わることで、「**まちをつかう・運営する**」側の目線で**計画がつくられ、ハード・ソフトに反映されていく**

運営の視点をもったプレイヤーがビジョンづくりや社会実験に関わる



01 はじめに | 甲府まちなかエリアプラットフォームとは

甲府まちなかエリアプラットフォーム（略称AP）とは

甲府まちなかエリアプラットフォームは、ビジョンの検討・実現を議論する場です。

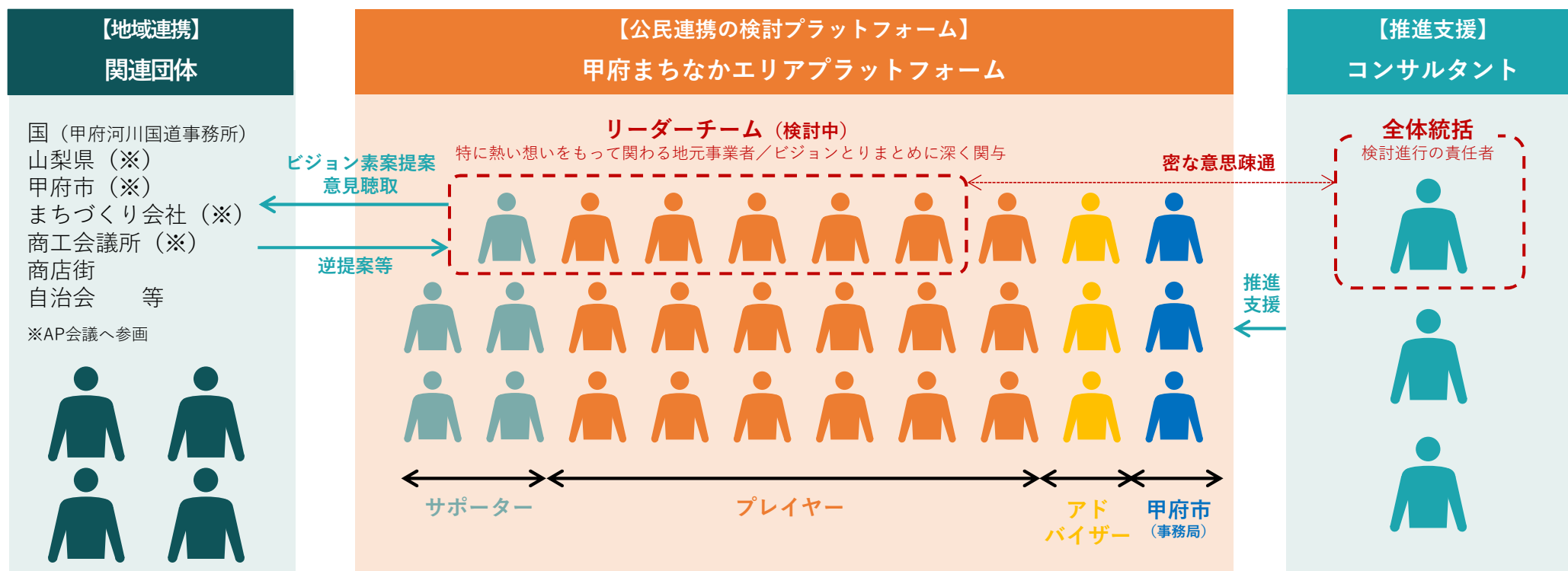
甲府のこれからを考え、パブリックマインドを有し主体的に動く民間事業者の方々と行政、また専門知識を有するアドバイザーを中心とした構成で、まちなかの運営視点のビジョンづくりを目指しています。

なお、今後は、ビジョンの実行に向けたアクションをとりまとめていく場に発展させていく予定です。

「民」メンバーの役割

- **プレイヤー**：ビジョンに基づくアクションを主体的に、時にリスクもって実践する役割
- **サポーター**：「プレイヤー」やAPに対して前向きな支援をする役割
- **アドバイザー**：まちづくりや景観、交通等の専門的な知見を有し、その観点から助言をする役割

■エリアプラットフォームの推進体制（2023年度）



01 はじめに | 検討経緯

2022年度からまちなかで活動されるさまざまな民間事業者の方々にお話を伺い、ビジョン検討の進め方について考えました。
2023年6月にエリアプラットフォーム（略称：AP）を立ち上げ、年度末までに5回開催したAP会議でビジョンの検討を進めました。

■2023年度における検討経緯（6-11月）

第1回エリアプラットフォーム会議（6/6）

- ・ エリアプラットフォームメンバー紹介
- ・ 官民連携まちなか再生推進事業とは？
- ・ エリアプラットフォームとは？
- ・ メンバーでの意見交換！



6月

7月

8月

9月

10月

11月

第2回エリアプラットフォーム会議（10/31）

- ・ 他地域のまちなか再生・エリアプラットフォーム事例のレクチャー（気仙沼市事例）
- ・ メンバーでの意見交換！



第3回エリアプラットフォーム会議（11/29）

- ・ 甲府まちなかのこれからにむけて、共有したい考え方、価値観等について対話
- ・ 甲府の公共空間のポテンシャルについてのレクチャー（UPS研究会の検討成果紹介*）
- ・ **ポテンシャルの高いまちなかの公共空間についての議論！**



まちの方へのヒアリング

- ・ 2022年から約1年間かけて、まちなかで様々な活動を行う方50名以上へヒアリングを行いました。まちなかの可能性、課題、思いなどについてお伺いし、意見を交わしてきました！



第1回市役所庁内勉強会(11/24)

- ・ これからの**公民連携まちづくり**に**庁内部署横断で取り組んでいく必要があることから、様々な部署が集まる庁内勉強会を開始しました！**
- ・ 講師：尾崎信Neighverse（株）
- ・ テーマ：他地域における**ビジョンづくりや公共空間活用**について



* UPS研究会：（公財）都市づくりパブリックデザインセンターが設置した、都市内パブリックスペース(UPS)のあり方について検討する研究会。このうちデザイン&マネジメント部会は甲府市もメンバーであり、2022-23年度に甲府中心市街地にてケーススタディを実施。まちなかの特定エリアの公共領域に対する「公共空間戦略」のたたき台を作成し、第3回AP会議や第3回庁内勉強会で成果報告を行った。

01 はじめに | 検討経緯

まちなかに関心を持つ人、まちに暮らす人・訪れる人などさまざまな方の意見を取り入れながらビジョンの検討を進めるため、参加型情報メディア（Web）、イベント、社会実験など、できるだけ多くのチャンネルで意見や反応を集めてきました。

■2023年度における検討経緯（12-3月）

第4回エリアプラットフォーム会議（12/20, 12/27）【拡大開催＝AP以外の民間プレイヤーも参加！】

- APメンバーだけでなく、本取り組みに関心をもってくださった約20名の民間事業者の方にも参加していただきました！
- 全員で「妄想タイム」ワークショップ＝まちなかで自分がやってみたいことを提案
- 「妄想タイム」の内容をエリアプラットフォームメンバーで振り返り・議論



第5回エリアプラットフォーム会議（3/5）

- 2023年度版ビジョン案をAPメンバーで確認し、修正方針を議論！
- 今後の活動方針などについて確認・意見交換



12月

1月

2月

3月

第2回市役所庁内勉強会（12/25）

- 講師：小島博仁氏（一社）せんだいリノベーションまちづくり実行委員会
- テーマ：「行政が変われば街は変わる～官民連携まちづくりの必要性～」

ビジョンテーマへの意見募集（2/9-3/10）

- 参加型情報メディア「my grooveこうふ」内で、エリアプラットフォーム内の議論から導き出したテーマについて、意見募集を実施！
- 市内のイベント、社会実験などオフラインでも意見募集を実施！



第3回市役所庁内勉強会（2/29）

- 講師：野原卓氏（横浜国立大学・UPS研究会*）、田中泰典氏・中山佳子氏（UPS研究会*）
- テーマ：「公共空間を用いてまちを豊かにすること」「公共空間戦略」

社会実験[みち活チャレンジWEEK]（3/4-10）

- 公共空間をより使いやすくするため、申請手続き等の円滑化を実験・検証する「みち活チャレンジWEEK」をオリオン通りで実施。



01 はじめに | ビジョンの概要

ここでは、本ビジョンの概要を先にご紹介します。まちなか暮らしの魅力を高めることを登山に例えると、本ビジョンには目的地（山頂）とそこへ至るルートが書かれています。甲府盆地のもたらす恵みに感謝しそれを活かすことを基本とし、3つの戦略の柱をもって、甲府の地元の方々がまちなかへの愛を深め、まちなかで過ごす時間が増えることを目指しています。

実現したい状態とコンセプト



□ 目的地 = 実現したい状態

甲府まちなかの魅力的なライフスタイルが実現し、
地元の人々がまちなかでの暮らしを大好きになり
まちなかで過ごす時間が増えていること

□ コンセプト = 目指す将来像達成にあたり、大切にしたい考え方

360° やまなし

愛があふれる、人が自然とまざりあう
豊かなこうふく文化都市

□ 大きなルートの設定

□ 個々の詳細なルート

次ページへ

山梨県甲府市は、名山に囲まれた美しい盆地です。
その地形から、多様な産物、技術、人々などが集まり、この場所で交わり合います。
また、甲府城跡からは山々の美しい稜線と景観を、ぐるっと一望することができます。
この恩恵に感謝しながら、まちづくりに活かしていくことで、
自分たちの暮らしの幸せや豊かさを探求していくことを目指します。

01 はじめに | ビジョンの概要

戦略の3本柱と先行的に取り組むエリア／プロジェクト

目的地へと至るルート（＝戦略）は、大きく3つあります。「場」を磨き込むこと、甲府らしい味付けの活動を生み出すこと、まちなかを回遊しやすくすることの3つです。

それぞれに重点的に取り組むべき具体性のあるテーマを設定し、また公・民の力を集中させるリーディングエリアを定め、プロジェクト（＝個々の詳細な登山ルート）を展開していきます。

□ 大きなルートの設定 = 戦略の柱

戦略の柱 ① 「出かけたくなる」をもっと！

01 まちなかの余白を磨いて
居心地がよく
出かけたくなる場をつくる

いままではまちなかの「余白」だった場所を磨き込んで、出かけたくなるまちなかにしたい

戦略の柱 ② 甲府らしいヒト・モノ・コト！

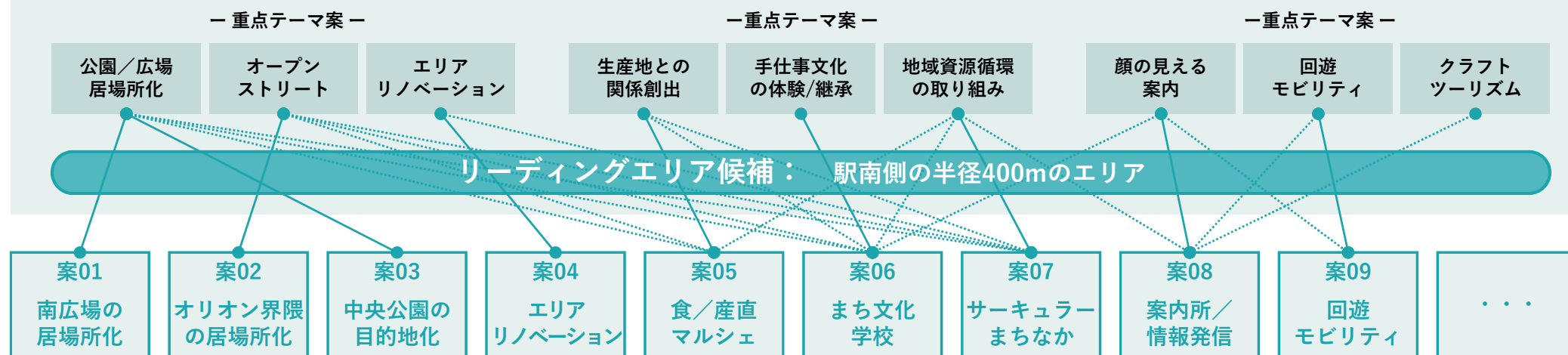
02 甲府らしいヒト・モノ・コト
の掛け合わせによる活動を
展開していく

ヒトを起点として、甲府らしいモノやコトを掛け合わせた、甲府のまちなかならではの活動を展開していきたい

戦略の柱 ③ 行きやすく＆回遊しやすく！

03 まちなかへのアクセスや
回遊を改善する方法を
試行し定着させていく

まちなかへのアクセスや回遊について改善方法を考え、定着化に向けた試行をはじめたい



□ 個々の詳細なルート = プロジェクト

リーディングプロジェクト候補

【駅ビル屋上の活用@セレオ甲府】**駅ビル屋上を地元企業に利用してもらいたい**。データを見ると歩いてくる人が多い。周りにビルもないので音出しもOK。

【若者の居場所づくり@駅前・駅ビル】**駅前に学生が集まれる場所**があるといい。駅前や駅ビルでのスケボーが問題化している。

【音で遊ぶ場をつくる@舞鶴城公園】**舞鶴城公園に音あそび空間**をつくる。ダンス、ダブルダッチ、DJ、ライブetc。

【滞在性の向上@舞鶴城公園南広場】おしろランド前の道路を歩行者天国に。コンクリを剥がして芝生と木の緑道にしたい。近くのお店のテラス席にも芝生を。手入れ手伝います。／**舞鶴城公園と南広場にアウトドアテントやシートチェア**を置く。／南広場の周りに座れる階段状の座席を作る。

【広場の面白い使い方@舞鶴城公園南広場】舞鶴城公園南広場や県庁広場で花火や焚き火をしたい。／**お堀に舟を浮かべて花見**がしたい。／お堀でSUP拡大版をしたい。シャワーや親水空間など、そのための設備もできるといい。城は文化財なのでお堀に入れる特別感がある。

【中央公園などの公園の再生】中央公園の再生は不可欠だと思う。／中央公園はガラッと変わると良い。丸の内公園も現状よくない。カラスのフンが多すぎるのはなんとかしないとイケない。現状喫煙者が多いイメージ。／**中央公園をスケートボード広場**にする。／スケボーはオリンピック競技にもなっているし、若者が来るきっかけになる。／中央公園のスポーツ活用（バスケットなどいい）／中央公園に、大人が基本入れない子供の秘密基地的な場所をつくりたい。／犬の飼育主は自然とコミュニティができてあがるので、ドッグランがどこかにあればと思っていた。

【ちょうちん横丁で外飲み】**屋根つけてちょうちん横丁で外飲み**できるようにする。

【店主が替わるバーなどのお店@南口】**日替わり店長のバー**。街中の店を知るチャンスにも、場を持つチャレンジにもなる。

【スポーツの場所や機会づくり】まちなかでのサッカーやフットサル大会（できれば天然

芝コート）。サッカーボウリングは実施経験あり。／**ヴァンフォーレの試合と連動したまちなかイベント**。チケットが安くなるなどの工夫。

【昼寝ができる場】温かい時期は舞鶴城で昼寝をしていることがある。冬の時期の昼寝の場があったら良い。

【まちなかでの滞留のサポート：チェアリング・レンタルスポット】**ピクニックシートやチェア、ベビーカーなどのレンタル**をしてくれる場所をつくる。（自分達も現在シートの貸し出しを行なっている。）／銀座通りではこみち制度を活用し、スツールやベンチの製作、貸出しを行いたい。

【武田神社への参道を歩きたくなるように】武田神社付近でウォーキングのような格好で歩く人が結構いる。**もっと歩きたくなる道へ**整備してほしい。

【学びの場を開く@山梨大学】**山梨大学の学びが知れる場**がほしい（大学の施設などを開く）→ものづくり実践センターや水素燃料電池の施設、図書館など見どころが多い。

【歩ける環境づくり@朝日通り商店街】**朝日通りをもっと面白く**したい。電線地中化の地上機器が無愛想なのでペイントしたり、駒止状の照明をペイントしたりステンドグラス化したい。

【中高大学生の居場所づくり@北口県立図書館周辺】**若者の居場所**が少ない。お金がなくてもいられる場所があまりない。大人が見守ってくれて、かつ無料でいられる場所があると良い。／駄菓子屋という場も良い。（羽黒で実践中）子どもなどが自分たちで店を観察してルールをつくる面白さがある。親には言えなくても、駄菓子屋のおばちゃんに言えることもある。

【文化ホールの帰り道の余韻を楽しめるように】県民文化ホールが遠いため、**歩いて帰る道すがら余韻**を楽しめない。

【リノベーションによる魅力的な拠点づくり】エールハウスをつくる。（来春実現予定）／**古い印象的な建物をリノベーション**してアートセンターに。（北京のArea 798を参照。）

【銭湯の再生】銭湯をきれいに建て替え、行きやすい雰囲気にする。／墨田区の黄金湯など、事業継継で面白くなっている銭湯がある。番台がDJブースになったり、絵描きが壁画をペイントしたり、上が宿泊施設だったり。松本の本屋が目の中の銭湯を事業継承した例もある。／**甲府のまちなかの温泉も事業形態や内装を変えれば蘇る**。サウナがあっても水風呂がないケースなどは設備面もテコ入れが必要。／駅から歩いて行ける範囲の銭湯が少ない。昔はもっとあったが廃業してしまっている。そういったところを活用して、サウナ有りの銭湯が復活できたら良い。／甲府は丸の内エリアなど、まちなかでも掘れば温泉が出てくる。

【山登り客を乗せていく銭湯送迎/周遊バス】菊乃湯に行くとし山登り客が来ているが、その後も汗かいてしまう。車で色々な温泉を回る社会実験などありうるかもしれない。／**銭湯があれば他の場所にも色々行く**ようになる。お腹も減る。

【密集市街地のサウナづくりリノベーション@穴切周辺】再建築不可の建築が集積しているエリアの**路地を生かして**サウナヘリノベーション→路地を抜けたら荒川に飛び込む。

【わざわざ行きたくなるホテルづくり】既存ホテルの進化やホテル開業のサポート。／**ただ泊まる場所というだけでなく、メディア、ハブとしてのホテルの意義**を発揮させたい。

【まちなかに屋台を！】簡易に組み立てられて、手続きも楽なポップアップスタンドがほしい。／**屋台！**／昼飲みがしたい。上野のホッピー通りや赤羽のような雰囲気がほしい。

【ウォークアブルな道路の実現】道路に椅子とテーブル、植栽などを置く→人がいないと言われるが滞留できる場所があれば集まってくるのでは。見ててワクワクするようなものが路上にあると立ち止まる。／よその街でも歩いて楽しい街とそうでない街がある。／**春日本通など安心して歩ける通り**にしてほしい。

【人の流れ/回遊の創出】甲府の飲み屋街は、岡島周辺・以北とかすがもーる以南に二分され、回遊がない。かすがもーるの先にあった旧キャバレーであるプラザコアを再開発して

駅から歩いて来る目的性をつくる。点と点を繋げる。人の流れをつくれるようにしたい。

【自然環境を生かしたアクティビティ誘発施設】学生は自転車をよく使うので、**川沿いなどのサイクリングロードをもっと面白く**してはどうか。／川でピクニック。芝生ピクニック。／武田の森にマウンテンバイクのコースをつくる。

【音楽や食のイベント@甲府駅ビル屋上】昔からまちなかでの音楽フェス開催が夢。騒音音問題で公園や空き地ではできないので、セレオの屋上でできないかと思っている。／**甲府駅屋上音楽&食**のイベントをやりたい。／ビル屋上を使った期間限定のワインバー。

【BBQ@舞鶴城公園南広場】**南広場でBBQ、焚火**をしたい。

【大型ビジョンを使ったパブリックビューイング@市役所】市役所の**大型ビジョンでサッカー観戦**。

【ヴィーガンイベント@市役所1F駐車場】年に1回のヴィーガンイベント→**日帰り好適地を生かした目的地**として。

【定期的なマルシェ@中央公園】上記イベントをだんだんと**日常的・定期的なマルシェ**へ。

【ローカルイベントのエリア内波及】カワセミ広場などの子ども向けイベントなどを、**他の商店街とも連携**し、銀座通りでも一緒に行くなど。エリアや通りに広がっていくと良い。

【回遊型イベント/ツアー】仙台定禅寺ストリートジャズフェスティバルのような**まちなかの至る所にステージがあるライブイベント**。平和通り各所にステージがあるとか。／甲府を知る街歩き企画。建築ツアーやまちなかの自然を探すツアー。／2時間コースで甲府の人に会えるツアーみたいなのをやってみたい。／回遊型のミニサッカー大会やドリブル大会。／まち歩きゲームなどを行い、子どもがまちなかに愛着をもつようにする。

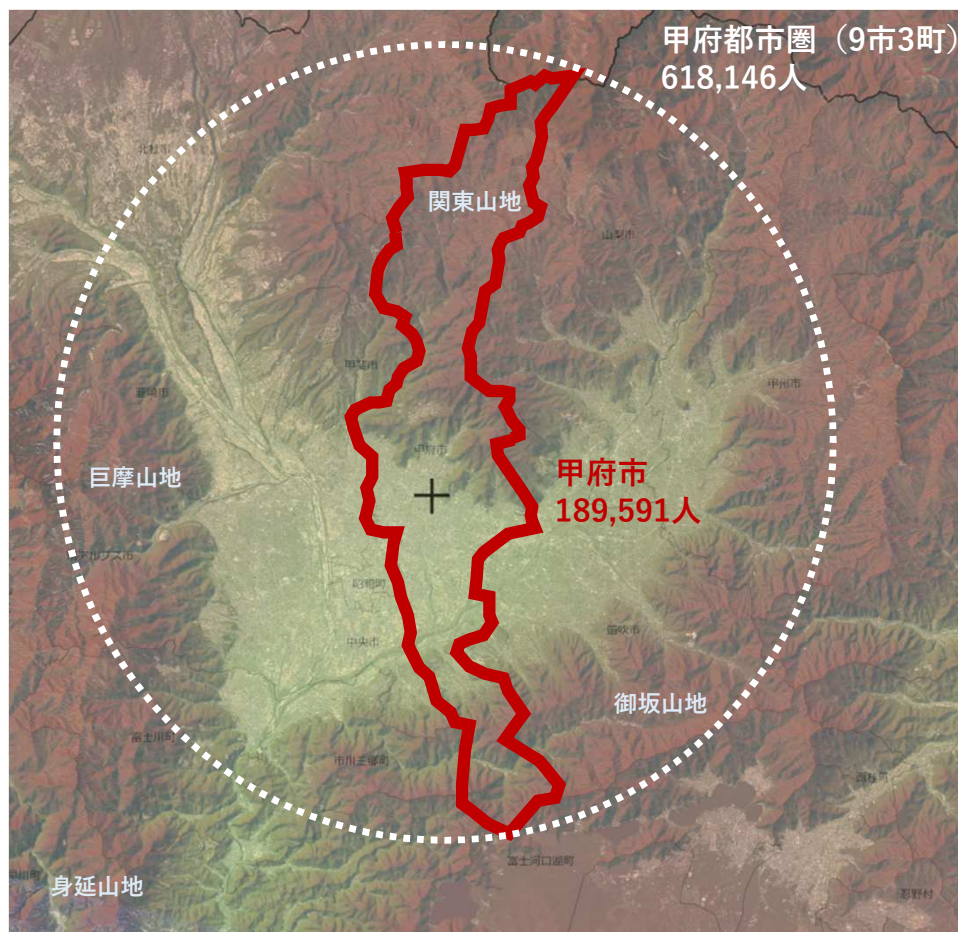
【生産地との関係づくり】**ファーマーズ・マーケット**を開催する。（よっちゃばれ広場、舞鶴城公園南広場）／先端技術にまつわるTED Talkを実施する。（農業xスマートは相性よい。）

02

まちなかエリアについて

甲府市：360° 山に囲まれた甲府盆地の中心

甲府市は、山梨県のほぼ中央に位置する、県内人口最多の中核市です。市街地は甲府盆地の中心にあたり、北に八ヶ岳、南に富士山、西に南アルプス連峰を望み、荒川や笛吹川が貫流する自然豊かな土地柄です。恵まれた水源が、様々な文化/産業を支えてきました。同時に首都東京からも約100kmの距離にあり、鉄道/自動車で気軽にアクセスすることもできます。都市的な暮らしと里山的な暮らしが両立できる環境は、近年のライフスタイルの変化の中で他地域の移住希望者からも注目を集めています。



甲府市の位置/人口規模（令和2年国勢調査より）



甲府まちなかの眺望



板敷渓谷
(昇仙峡)



武田神社

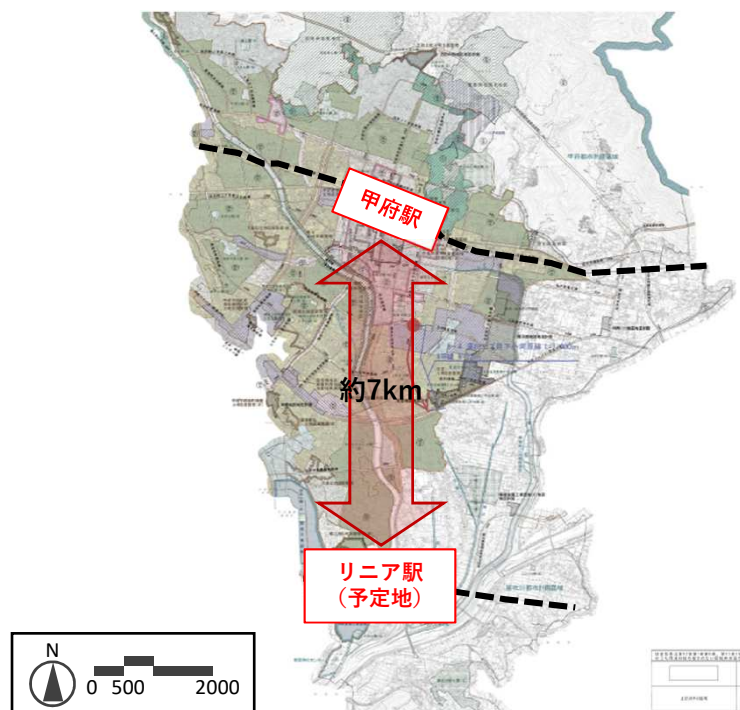


舞鶴城公園（甲府城跡）

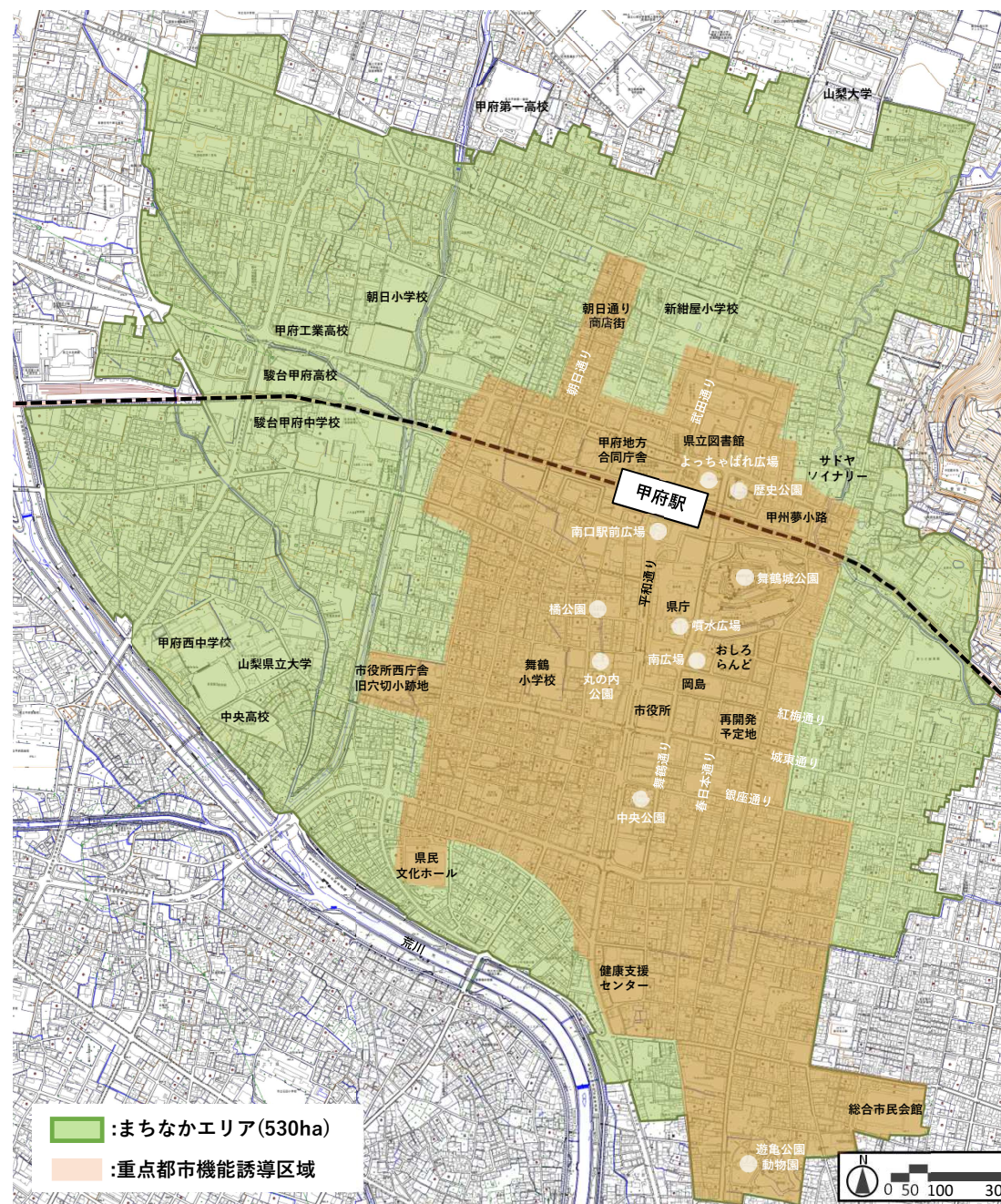
「まちなかエリア」の範囲は？

本ビジョンの対象範囲である「まちなかエリア」は、甲府市都市計画マスタープランの「まちなかエリア」の範囲、および甲府市立地適正化計画の「重点都市機能誘導区域」（県内全域・市内全域から利用者が集まるような施設を立地させていくべき区域）の範囲がベースになっており、右図に示す範囲が該当します。

本ビジョンでは、この範囲のうち、最初に注力すべきエリアを「リーディングエリア」として検討し、公・民の力を合わせてまずそのエリアから目に見える変化を起こし、それが対象範囲の他エリアへと伝播していくことを目指します。



甲府駅とリニア駅（予定地）の位置関係



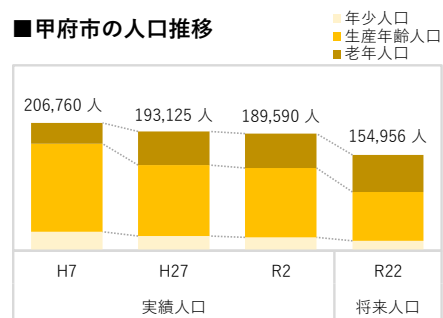
02 まちなかエリアについて | 現状と課題

データを見ると、生産年齢人口の減少に加え、若い人ほど甲府に住み続けたいと思っていないことがわかります。まちなかの地価は下落し、駐車場などの低未利用地が増えており、このままでは危機的な状況に陥りかねません。

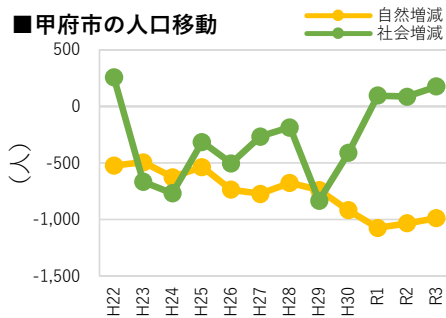
甲府市の生産年齢人口は今後も減少していく見込み

人口は全体的に減少傾向にあり、特に生産年齢人口が減少していくと予測されています。ここ数年、市外との人口移動では若干プラスに転じているものの、過去の統計からは特に20代の市外流出が懸念されます。

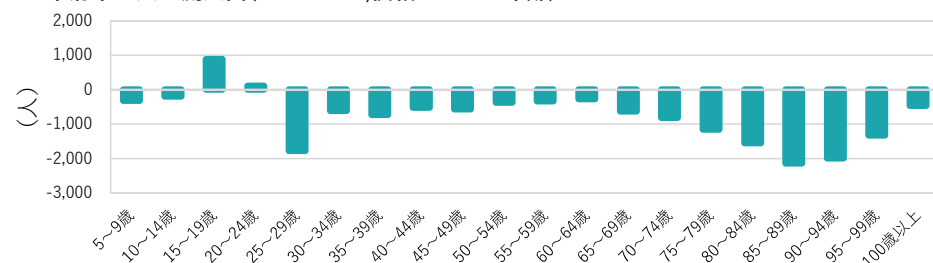
■甲府市の人口推移



■甲府市の人口移動



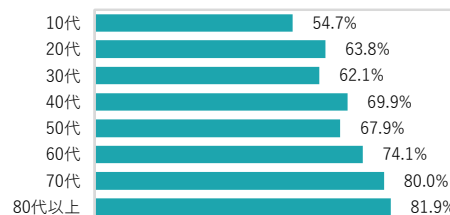
■甲府市の人口流入出(H22→H27,横軸はH27の年齢)



「甲府に住み続けたい」という回答は若い世代ほど少ない

甲府市に住み続けたい人の割合は若いほど低く、10代では約半数が否定的な回答をしています。

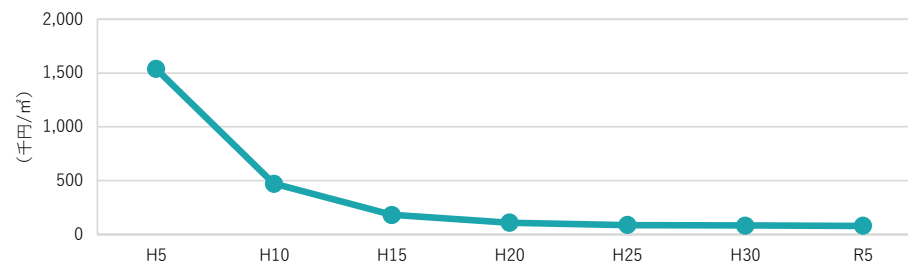
■住み続けたい人の割合



甲府駅周辺の地価は下落基調

甲府市内の地価は全体的に下落しており、相対的に地価の高い甲府駅周辺の地価であっても同様です。

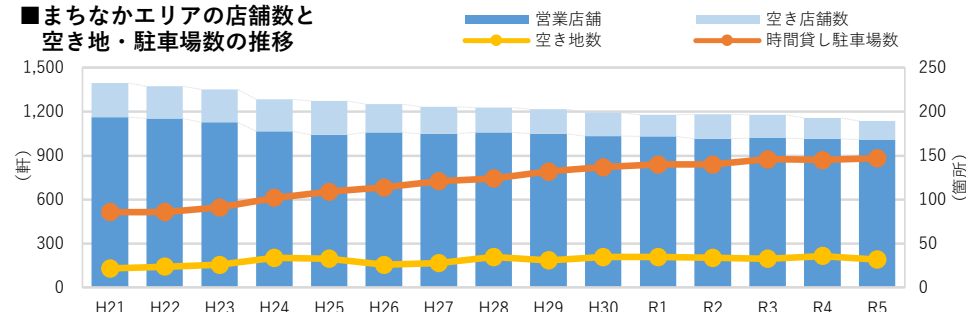
■甲府駅周辺の地価の推移



まちなかの店舗が減り、空き地/駐車場が増えている

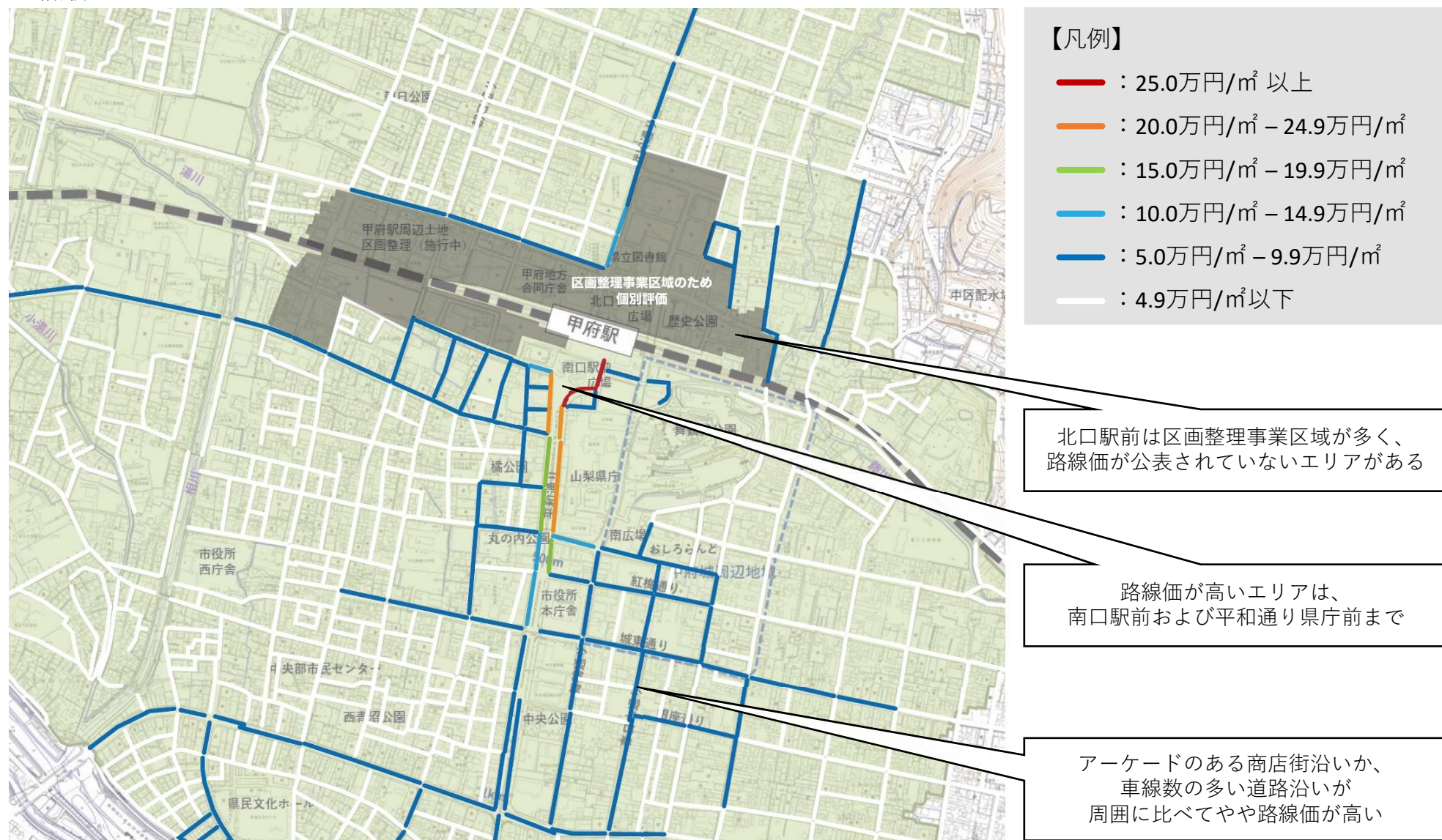
近年は空き店舗の数が減ってきていますが、そのぶん空き地や時間貸し駐車場の数が増加しており、まちなかの店舗数（全体、及び営業店舗）も減少傾向にあります。

■まちなかエリアの店舗数と空き地・駐車場の推移



まちなかエリアにおいて地価（路線価）がもっとも高いのは、駅南口の一部のごく限られた範囲です。少し離れると地価は急激に下落しており、まちなかの活力が減衰していることが推察されます。

■路線価マップ



〔データ出典〕国税庁財産評価基準書路線価図・評価倍率表 令和3年度山梨県路線価図／左記データに基づいて作図

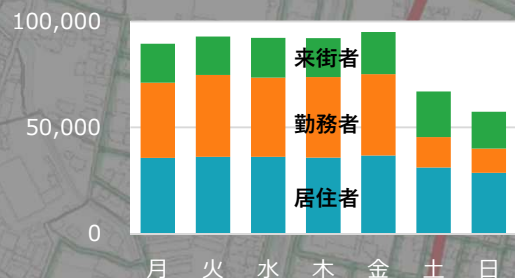
02 まちなかエリアについて | 現状と課題

現状、まちなかエリアの歩行者は居住者や通勤者が中心です。夜間はほぼ居住者のみになります。そんな地元の人たちが歩いている範囲は、駅南口から平和通り、新しい岡島のあたりまでに集中しており、そこから周囲への広がりが弱いことがわかります。

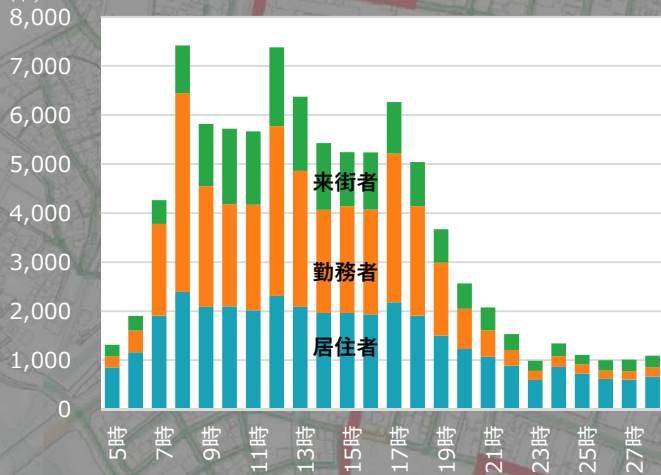
■歩行者通行量（休日）

データ集計期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日
人数：一日当たりの歩行者数の平均値

■曜日別通行人口（日あたり、まちなか全体）



■時間帯別通行人口（例：月曜日、日あたり、まちなか全体）



02 まちなかエリアについて | 現状と課題

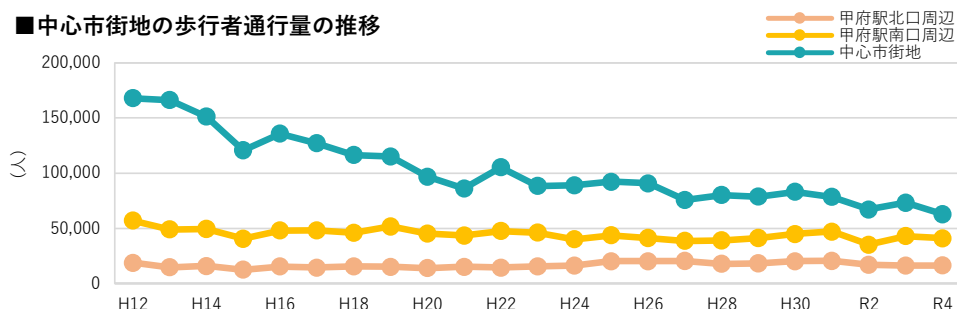
人口が減る中、これまで以上に出かけたくなる「日常的な魅力」がなければ、まちの活気が失われるのは必然です。しかし実際に歩行者通行量はどんどん減っており、その背景には「目的地/居場所としての弱さ」がありそうです。

歩行者通行量は中心市街地全体で減少傾向

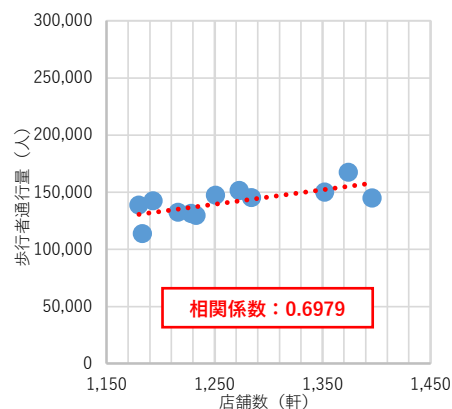
駅周辺の歩行者通行量はそれほど変化がないものの、中心市街地全体では減少傾向にあり、滞留・回遊する人が減っていることが伺えます。

歩行者通行量は店舗数や地価との相関関係が非常に強いため、まちなかの経済的活性度合いを左右する指標としても、通行量の減少は深刻です。

■中心市街地の歩行者通行量の推移

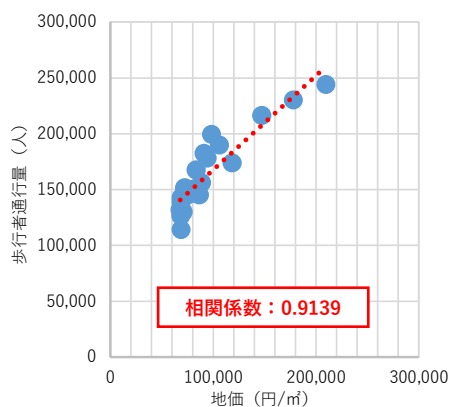


■歩行者通行量と店舗数の相関関係



歩行者通行量と店舗数には、「どちらかが減ればもう一方も減る」という関係性がはっきり見られる

■歩行者通行量と地価の相関関係



歩行者通行量と地価には、「どちらかが減ればもう一方も減る」という関係性がとても強く見られる

「まちなかには目的地/居場所が少ない」と思われている

なぜ甲府まちなかの歩行者通行量が減少しているのでしょうか？

地域の方々へのヒアリングや、エリアプラットフォームの議論では下記のような声が聞こえてきました。一過性のイベントだけではなく、人々が日常的な魅力を感じられる目的地/居場所づくりが鍵になりそうです。

■まちなかに関する声（一部）

休憩する木陰や緑が少ないと感じる
また車中心の道が多く、歩きにくい

おしろらんどは人気だけど、小さい子どもを安心して解き放てる屋外空間は少ない

まちなかに日用品/食料品を扱う店が少ないので、まちなか居住していても車で買いに行く

プリクラ、カラオケ100円ショップなど若者を惹きつける遊び場が限定的

中高生が日常的に集まって楽しめる場所が少ない

夜は飲み屋街として活気があるが、昼間のまちが寂し過ぎる

隠れた魅力はあるかもしれないが、気付きにくい

駐車場に停めて、買い物したらそのまま帰ることが多い

結果的に、近場のショッピングモールでOK、となりがち

02 まちなかエリアについて | 「日常的な魅力」を生み出すポテンシャル

実際は、甲府のまちなかには都市機能がコンパクトに集中しており、甲府ならではの強みも含めて「目的地/居場所」と「日常的な魅力」を生み出すポテンシャルが多く存在します。公民の連携を通じて、これらの可能性を思い切り開花させていけるのではないのでしょうか？

面白い人やカルチャーが集まる土壌 (ソフト面の隠れたポテンシャル)



まちなかに一步深く入り込むと
魅力的な人や個人店がたくさん

若者にとっては**挑戦できる余白**があり
そこに魅力を感じて移住する人も



自ら仕掛ける人のネットワークが密。
飛び込めばすぐつながれる

目的地/居場所づくりに活かせる空間 (ハード面の隠れたポテンシャル)

本来もっと有効活用できるはずの
まちなかの公園/広場がいくつもある



例) 舞鶴城公園南広場、中央公園、丸の内公園など



人が歩いたり滞留したくなる道に
なれるような通りがいくつもある

例) オリオン通りの界隈、さまざまなコミュニティ道路など

民有地の「公共的な活用」にも
前向きな持ち主は実はいる



その他にも、ついつい**当たり前になりがちな強み**がたくさん！

山に囲まれた
まちなか暮らし



盆地の豊かな
自然資源/食



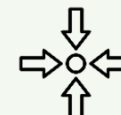
甲府独自の
歴史/文化



他都市アクセス
の良さ



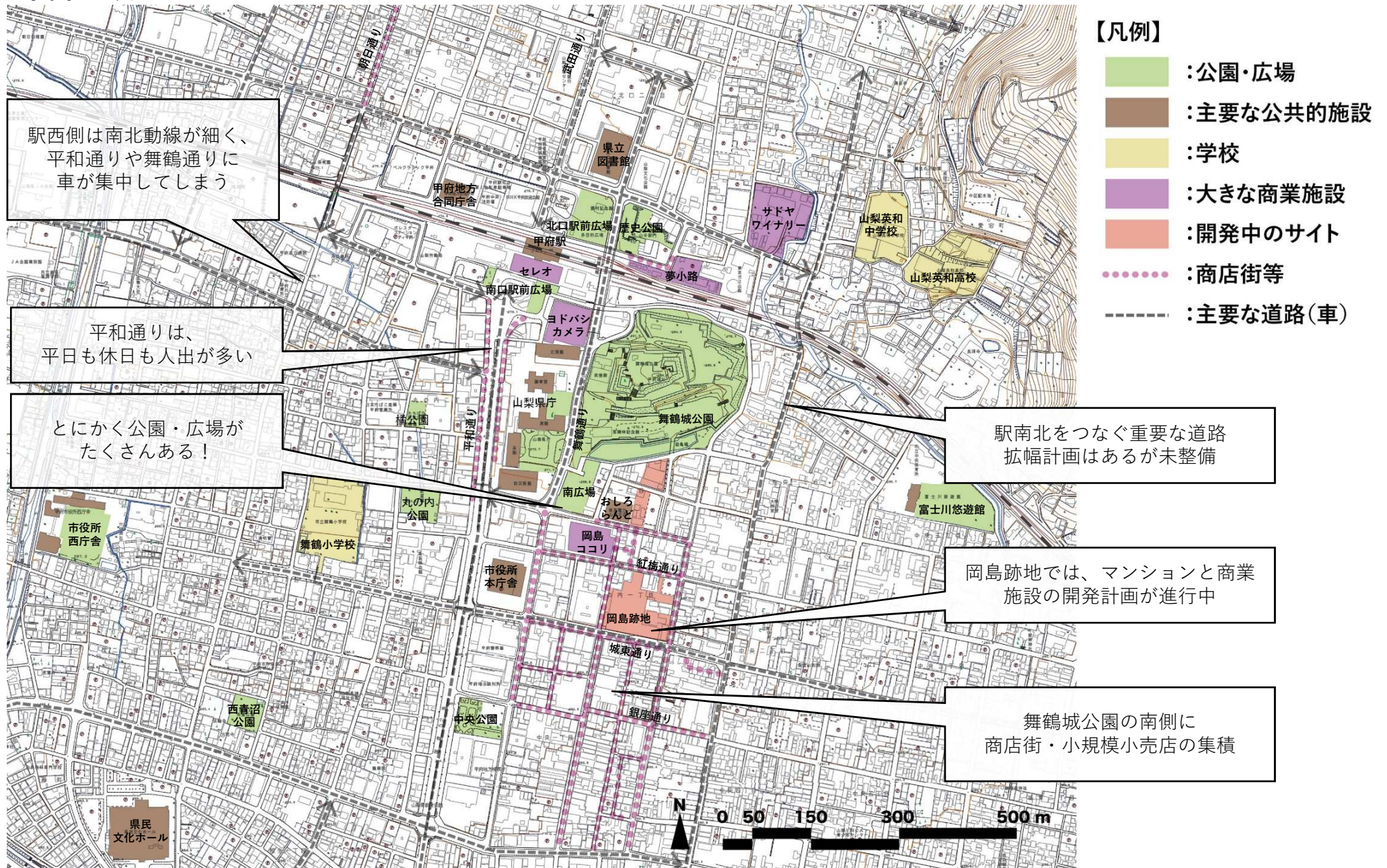
県内の人/モノ/コトが
集まる中枢都市



これらのポテンシャルは、専門家による指摘およびAP会議等での市民からの指摘を踏まえて書き込んでいます。

02 まちなかエリアについて | 「日常的な魅力」を生み出すポテンシャル

■ まちなかマップ



まとめますと、甲府のまちなかエリアが抱える課題を解決し、まちなかが元気な状態でいられるような好循環を生み出すために、わたしたちは次のようなことを目指して取り組みを進めていくべきではないでしょうか。

1. 主に地元の人々にとって「日常的な魅力」が感じられ、歩きたくなるまちなかにする

- 大きなイベントのような「非日常の魅力」も大事だけれど、日々の生活の舞台としてまちなかが選ばれるような「日常的な魅力」も、とても大事。
- 一過性ではなく、持続性のある「まちなかの魅力を高める方法」を発明する必要がある。

2. そのために、行きたくなる場所を増やし、回遊しやすくする

- 「まちなかを回遊する人がいる」ことがとても大事で、そのためには、「まちなかに目的地となる場所が少しでも多くあり、また無目的でも行きたくなるような居心地のよい場所があること」や「回遊しやすいルートや手段があること」が大切。

3. 子ども・若者が、まちなかに思い入れを持ち、甲府に住みたいと思えるようにする

- 甲府に住みたいと思えるような、文化的な刺激やコミュニティ、居場所などをきちんとまちなかにつくりたい。



まちなかの持つゆたかな資源や特性を活かした

甲府のまちなかならでは魅力的なライフスタイルを実現していく！

【新しいツーリズムづくり】**自転車で回れるツーリズム**をつくる。(チェックポイントには甲府の街に関する解説がなされ、ゴール地点でお土産がもらえるなど。)

【その他、イベント系】店同士のコラボレーションなどは少ないため、お店のコラボイベント。／まちなかにたくさんあるカフェで同時多発的に読書会を行う。／どこかの公園や広場での屋外映画館。／病んでいる方も多いので、**焚き火を囲んだ対話の場**をやりたい。／自分が桜座の立ち上げに関わったこともあり、ジャズイベントを拡大させていきたい。／よいどれパス。お酒を飲みながらパスで回遊できる。

【クラフトやものづくりの機会】ストリートファニチャーの企画+製作**ものづくりワークショップ**。／朝日通りに七夕まつりの短冊を飾る。思い出ができればその後もまちなかに来るきっかけになる。／朝日通りに限らずどのエリアでも展開可能。

【クラフトがテーマとなる場所づくり@南口】宝石ストリートをつくる。／**クラフトができる場所**(水晶・宝石)

【ナイトマーケットの常設】舞鶴城公園等を使って、**ナイトマーケット**を常設して欲しい。

【地場の手仕事の技術×サーキュラーエコノミー@城東通り】ストックを活用しながら、**地場の手仕事の技術**(印伝、宝飾など)を活用して、新しいものに生まれ変わらせることができる場(クラフトラボ)をつくる。

【toCに対するジュエリーアピール:オーダーメイド、リペア、リフォーム】ジュエリー産業No.1を活かし、わざわざジュエリーを買いに来るまちに。／**実はまちなかには職人がたくさん**おり、オーダーメイドやリペア、リフォームをまちのなかで完結できる。その価値ををみんな知らない。

【まちなかプレイヤーが教える甲府のまち文化学校】**甲府の粋な人々が、若い人にデザインや文化、食などを直接教える学校**をつくる。自由大学、渋谷大学みたいなイメージ。

【アートでまちを活性化@壁面や公園】甲府の建物の壁面にアートを描きたい。**まちの至るところにアート**がある街になると良い。／

公園の遊具ももっとアートのようなものがあって良いと思っている。／公園には健康器具ももっと設置して良いと思う。／タコ公園(たちばな児童公園)ももっとアートにできそう。／中央公園もアート等も活用しながらもっと賑わいをつくれたら。

【甲府の豊かな食をコンセプトに】宮崎県の綾町など、甲府の食が豊かだからこそ、**「オーガニックな街」**をコンセプトに発信していけないか。

【ランチマーケットの常設】ランチの時間帯に混雑するため、ランチ難民になることが多い。時間をずらしてランチをするが14時には閉まってしまうことが多い。／**公園や広場などでランチマーケット**を出せると良い。まちなかの飲食店だけでなく、郊外や県外のお弁当等も売っているような場ができると混雑緩和だけでなく、知らなかったお店との出会いもあってよい。

【まちなかのよいモノを集めたセレクトショップ→まちなか回遊】まちなかの**手作り産品、よい作り手のものを集めたセレクトショップ**。／セレクトショップで物を知り、実際の店舗へ行くことを促すことでまちなか回遊。

【マイボトル、古着のリユース、コンポスト等の循環型の取り組み】水が豊かなまちだからこそ、まちなかで水が入れられるようになると良い。ペットボトルの削減など、みんながマイボトルを持ち歩いている街は時代にも合っている。／**コンポストのように古着の回収**をできたら良い。→おしろいランド使ってできそう。／公共コンポストを公園や廃校などに設置してはどうか。

【まちなか農園】まちなかで、**みんなでシェアして畑づくり**をできると良い。

【空き家を直すDIY教室】**DIYをはじめる練習場**として、空き家が活用できるとよい。／皆やりたくなっているが、やり方がわからない。

【循環フェス】**サーキュラーをキーワードとしたフェス**を行いたい。建材のアップサイクルを行う事業を計画。

【学生の部活発表の場@朝日通り】**朝日通り商店街を学生の発表の場**に。学生は大きい

発表会以外、活動発表の場がないため、もっと気軽に発表ができる場をつくる。／実は今年から始めており、場を提供すると商店街が申し出たところ、一高の学生が自分たちで率先して動いていてとても素晴らしい。

【県外からくる子連れ向けの観光案内所@春日周辺】県外から**子連れで来た方向けの観光案内所**があると良い。どこに行けるのかわかりづらい。また東京のお受験の条件として山梨に自然体験を求める子連れが来るので、その案内をする。

【まちの情報の発信@駅周辺】**まち案内所を駅近く**につくる。(まちへの入口づくり、滞在長期化のきっかけづくり)／情報発信(昼・夜)ができる場所をつくる。

【甲府の情報がまとまっているWEBメディアの制作】**甲府のお店情報が一元的にまとまっているWEBメディア**をつくりたい。【三角マップづくりでまちなか巡り】**まちなかに3つくらい目的地があると、まちを回遊するようになる**。様々な人が日常の中でルーティンにしていることを集めて、いろいろな人のお勧めがマッピングされた三角マップをつくる。／目的地となる店が重なるところがみえてくると客層が見えて面白い。／まちなかマップづくり(まちを独自に捉えている人の視点をシェア)

【店巡り／散歩マップを他者と一緒に作る】**現状若者がまちなかにいく目的(必要性)を持っていない**。若者がまちなかの店を知らないため、若い人と一緒に魅力的な店のマップをつくる。／地域の方と一緒に作る散歩マップづくり。おすすめの道や店を発見しながら作成。

【まちあるきルートの策定】**まちあるきルート**を何種か設定する→好きな店、昼飲みできる店など。／駅北口方面と舞鶴城東側エリアを周遊できるルートがない。

【飲み屋街のよさを伝える】飲み屋街等、登下校に地域の大人たちが一斉に見守っている姿が素晴らしい。こういった面をもっと伝えていけないか。／春日あべにゆるのあたりも夜のまちではあるが、治安が悪いわけでもない。見方を変えれば、思春期の**子どもが大人**

になる街ともいえる。

【高齢者や障害者のケア/まちなかへのアクセシビリティ向上】甲府中心部に独居者が多いので、地域の保健室の利用やシルバーカー・回送車の設置。**高齢者や障害者に優しいまち**づくり。

【シェアサイクルの導入】駅やまちの要所に**カッコいい&子乗せもあるシェアサイクル**のポートを置く。乗り捨て対応。／休日など家族で家から電車で甲府駅に来て街を楽しむので、自転車があれば乗りたい。／小学校敷地(穴切小、椎名小)を活用して、自転車や自動車などのモビリティの乗降場に。／南庁舎(旧相生小)などの廃校を駐車場として活用し、まちなかへはバスや自転車で移動。／カワセミ広場の駐輪場で貸し自転車。

【新たなモビリティの導入】甲府は徒歩以上自動車未満のモビリティが合う。**トゥクトゥクタクシーの営業をしたい**と思っている。／自転車程度の軽いシェアモビリティを入れる。(自転車なのか、電動キックボードなのか詳細は未定)

【まちなかへ来やすくなる駐車場料金の柔軟な運用】第2土曜市を中心にもっと中心街を盛り上げるため、駐車場料金の値下げをする。**(時間帯によって料金を切り替えるなど)**

【駐輪スペース@全域】若者はいるところには居るので**駐輪場がもっと**あると良い。綺麗に停めなくなる仕組みがあると良い。

【甲府盆地を見渡す眺望の視点場づくり@市役所、舞鶴城公園】**市役所屋上のオープンテラス化**。／展望台(舞鶴城)。

【カラスのフンをクリエイティブに掃除】まちあるきをしながらカラスのフンを掃除する。なにか**面白い糞害対策の仕組み**を。

【大人も子供も学べる学校の設置】**大人も子供もみんなが学べる学校**ができたら良い。

【シニア特化型の歩いて回れるまちづくり】**歩くだけで生活がなりたつ環境**が整えば、人を呼び込める可能性はあると思う。

【ユニバーサルレストラン】子供からおとな、認知症の方等、様々な方々が集い、多様性を五感で感じられる**ユニバーサルレストラン**があると面白い。

03

目指す将来像

03 目指す将来像 | 目的地とそこへ至るルート

ビジョンの目的地とそこへ至るルート

まちなか暮らしの魅力を高めることを登山に例えると、目的地（山頂）とそこへ至るルートが大事になります。

ここでは、目的地とルートについて、それぞれどのように考え設定をしたのかを整理します。

□ 目的地 = 実現したい状態



□ 大きなルートの設定 = 戦略

□ 個々の詳細なルート = プロジェクト

目的地＝実現したい状態

甲府まちなかの魅力的なライフスタイルが実現し、
地元の人々がまちなかでの暮らしを大好きになり
まちなかで過ごす時間が増えていること

- ✓ 特に若者や子育て世代を中心に、現在まちなかに来ていない地元の人がまちなかで過ごし、その時間が大好きになること。
- ✓ そして、それが知り合いに伝わったり、知り合いを案内することで、じわじわと甲府まちなかのファンが増えていくこと。

目的地へと至るルートの設定方針

「個人の思い」と「都市デザイン戦略」の両立



「個人の思い」

インサイド・アウト・アプローチ
プレイヤーの「やってみたい」という気持ちに基づいて取り組み内容を考える、人起点のアプローチ



AP会議で「妄想」を多数収集！
まちなかの思いを持った人々の活動ともつないでいく！



「都市デザイン戦略」

アウトサイド・イン・アプローチ
✓ 都市デザイン的方法論から考える、都市・社会起点のアプローチ



まちなかの目的地となる場所を増やし、アクセス性を向上させ、
回遊行動を呼び込む！

ビジョンのコンセプト

目指す将来像を達成するにあたり、本ビジョンが大切にしたい考え方をコンセプトとして以下にまとめます。

360° やまなし

愛があふれる、人が自然とまざりあう
豊かなこうふく文化都市

甲府は、全方位が「山」な市だから。

山梨県甲府市は、富士山、南アルプス、八ヶ岳など、数々の名山に囲まれた美しい盆地です。

その地形から、全国や山梨県中から多様な産物、技術、人々などが集まり、この場所で交わり合います。

また、まちの中心にある甲府城跡からは、360° 全方位、山々の美しい稜線やそれがもたらす景観を、ぐるっと一望することができます。

このような街は、世界中を探しても、どこにもありません。この街に住み、活動する私たちだからこそ、

その恩恵に感謝しながら、まちづくりに活かしていくことで、自分たちの暮らしの幸せや豊かさを探求していくことを目指します。



実現するための戦略： 回遊して楽しめるまちなかをつくっていく！

戦略の柱 ① 「出かけたくなる」をもっと！

01 まちなかの余白を磨いて 居心地がよく 出かけたくなる場をつくる

【考え方】「まちなかに行こう！」と思っても
られるように、目的地として選ばれる場所を増
やしたい。また、無目的でも行きたくなるよう
な居心地のよい公共空間も増やしたい。いまま
ではまちなかの「余白」だった場所を磨き込ん
で、出かけたくなるまちなかにしたい。

【重点テーマ案】公民連携で取り組むには、利
用者が少ない公園／広場や、交通量が少ないの
に歩きづらい通りなどの公共空間を舞台に、民
間の魅力的な使い方を呼び込むような方策が有
効だ。また、社会問題にもなっている空き店舗
などのポテンシャルの高い空間をリノベーショ
ンによって生まれ変わらせることも有効だろ
う。

－重点テーマ案－

公園／広場
居場所化

オープン
ストリート

エリア
リノベーション

戦略の柱 ② 甲府らしいヒト・モノ・コト！

02 甲府らしいヒト・モノ・コト の掛け合わせによる活動を 展開していく

【考え方】戦略の柱 ①でつくる場をはじめとし
て、まちなかにおもしろいヒト・やる気のみな
ざるヒトを起点として、甲府らしいモノやコト
を掛け合わせた、甲府のまちなかならではの活
動を展開していきたい。それも観光客のために
やるというよりは、まずは地元の人々が愛を深
めていけるようなかたちを考えたい。

【重点テーマ案】周囲の山裾を中心に広がる生
産地との関係性を一層強めたり、食品づくりや
宝飾等の手仕事文化を身近に感じ継承につな
がるよう仕掛けたり、資源を循環させ環境負荷
を下げるとともに価値を生み出すなどを、これら
をリードする人材との組み合わせで考えたい。

－重点テーマ案－

生産地との
関係創出

手仕事文化
の体験/継承

地域資源循環
の取り組み

戦略の柱 ③ 行きやすく＆回遊しやすく！

03 まちなかへのアクセスや 回遊を改善する方法を 試行し定着させていく

【考え方】まちなかのことを考える際、ついて
回るのが移動の話。駐車場問題や、交通量が少
ない道でも歩行者が車に遠慮して歩かなければ
ならない車中心・回遊阻害の問題など課題は多
い。まちなかへのアクセスや回遊について改善
方法を考え、定着化に向けた試行を始めたい。

【重点テーマ案】まちなかを回遊したくなるよ
うな情報発信がもっとほしい。それも魅力的な
人が案内するような特別さがある。また、まち
なかを回遊するための徒歩以上・自動車未満の
モビリティについても検討が必要だろう。さら
に、地元の人が知人友人を案内するような、等
身大のツーリズムもありえるかもしれない。

－重点テーマ案－

顔の見える
案内

回遊
モビリティ

クラフト
ツーリズム

ビジョン実現に向けて、先導的に公・民のリソースを一旦集中させるエリア（＝リーディングエリア）を設定する（後述）

プレイヤーの「やりたい！」という思いと戦略が重なる試みをプロジェクトとして立ち上げ、自走化へ向けて社会実験・検証を進める

甲府まちなかポテンシャル妄想マップ

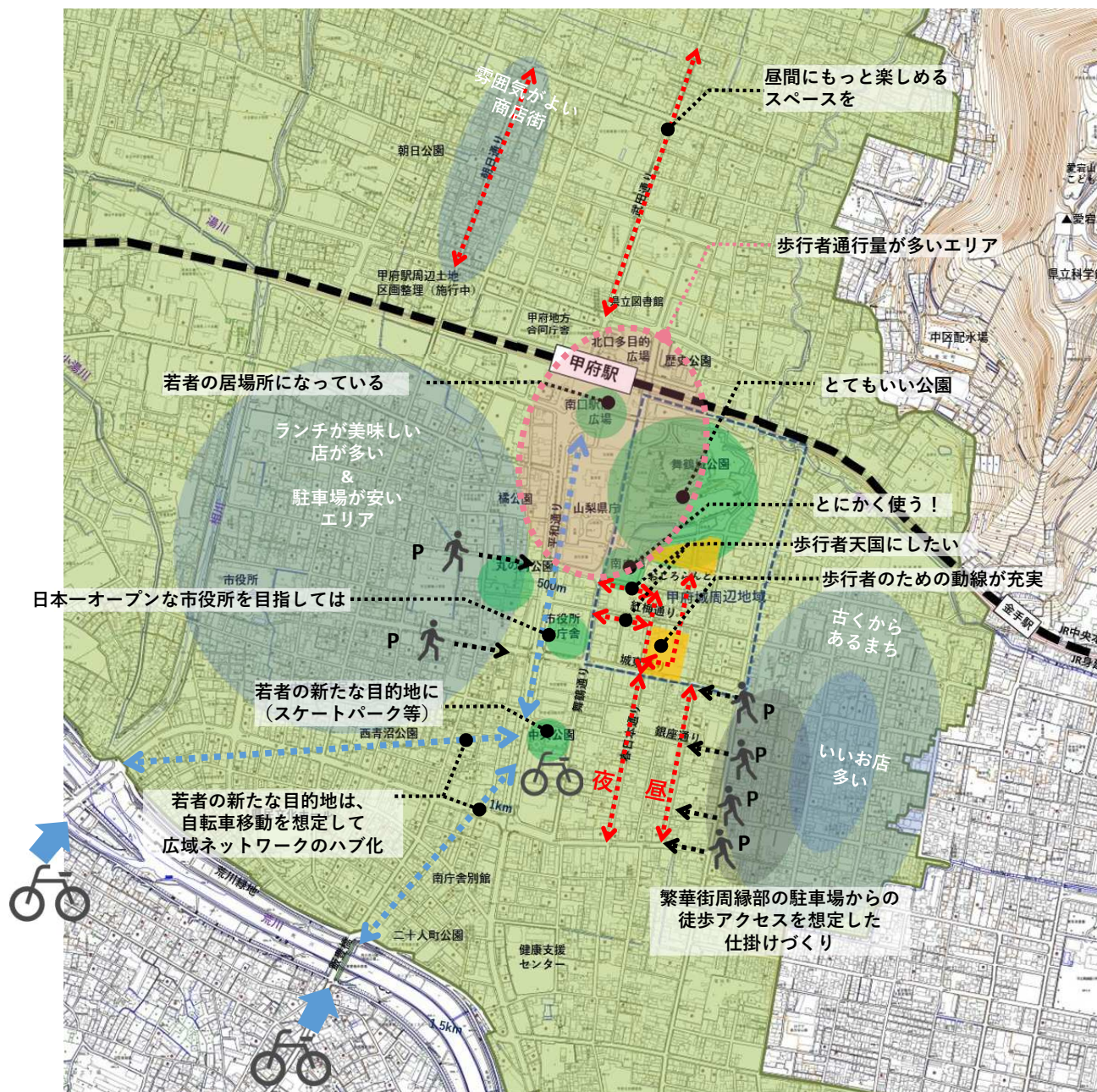
まちなかのポテンシャルが高いと思われるエリアについてAP会議等において意見を集めたところ、駅南口方面への意見が多く収集されました。

右図はそれらの意見や関連する調査結果をプロットしたものです。

まちなかの歩行者通行量は減少傾向にありますが、南口は駅から県庁までの平和通り沿いや舞鶴城公園南広場とココリの間は人通りが比較的多くなっています。

今回出されたアイデアの多くは、そのエリアよりもさらに南側を対象としたものが主です。

現在は歩行者が少なくなってしまった南側繁華街ですが、それは実はチャンスでもあるという意見もありました。地価が安くなっていたり、人通りが少ないということは、それだけ若者らがチャレンジしやすい条件になっているということでもあるからです。



リーディングエリア候補

リーディングエリアとは、ビジョン実現に向けて先導的に取り組む（公・民のリソースを一旦集中させる）エリアです。

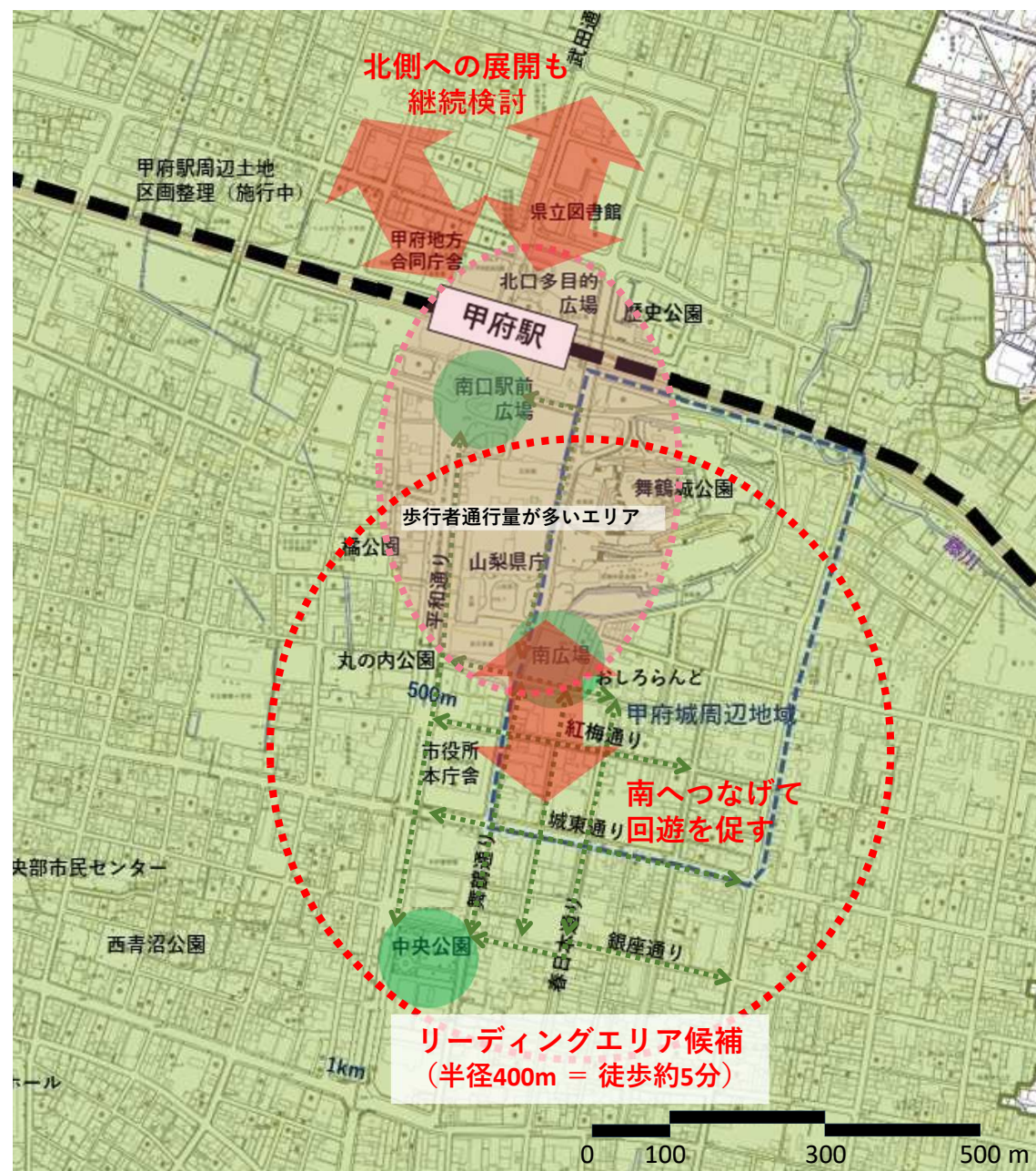
ここから周辺エリアへとよい刺激が広がり、パブリックマインドを持ったプレイヤーの登場や、公民連携にふさわしいプロジェクトの立ち上がりをねらいます。

そのリーディングエリアの候補を、右図の赤破線の範囲とします。

リーディングエリア候補の設定の考え方

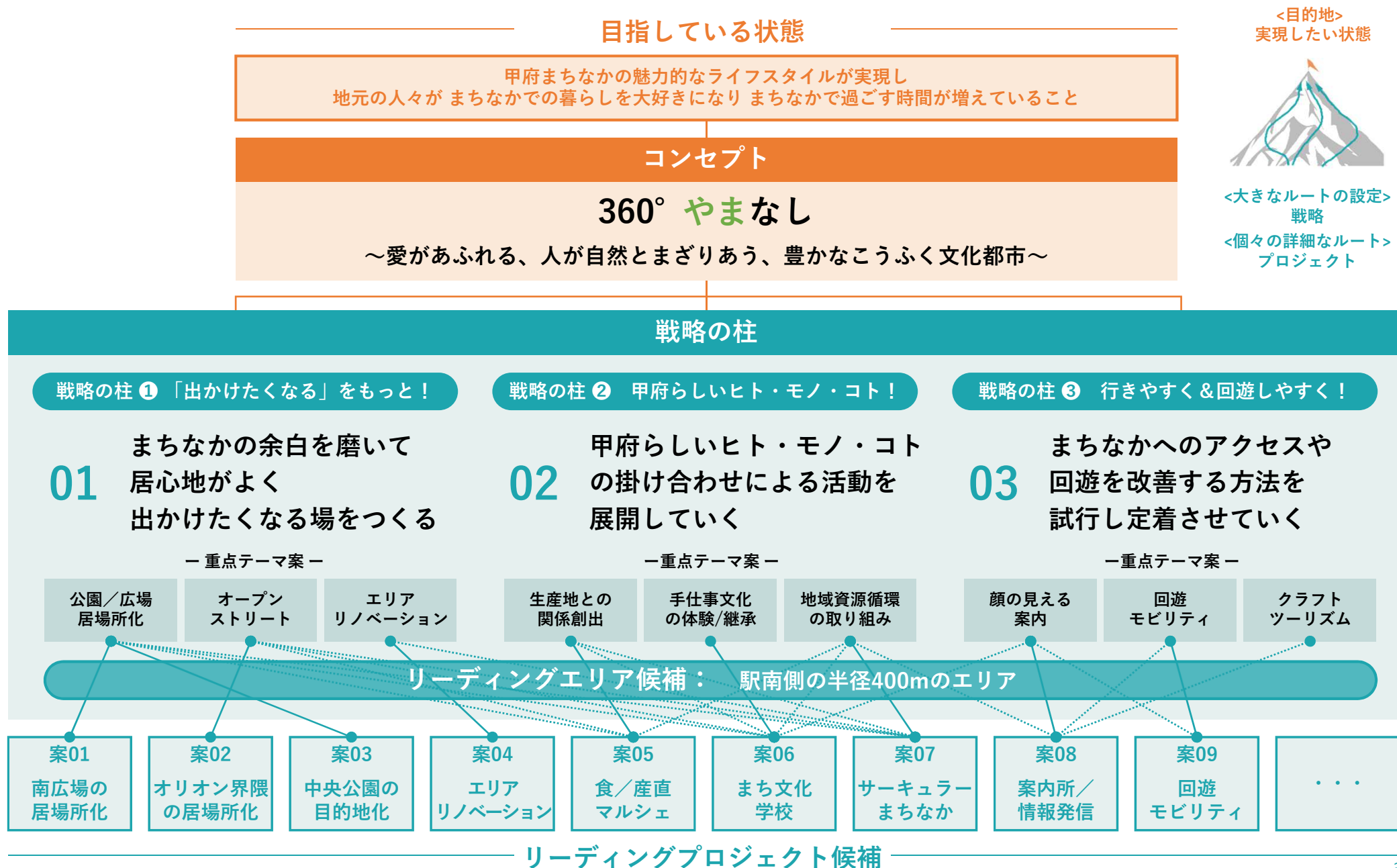
無理なく歩いて回れる範囲であり
駅前の歩行者通行量の多いエリアとつなげて
回遊の範囲を広げられるポテンシャルが高い
駅南側の半径400mのエリアを設定する

- ① まちなかを回遊したくなることが戦略の大きなねらいであるため、無理なく歩いて回れる範囲として、**半径400m（徒歩約5分）程度の範囲を想定**する。
- ② 駅前の歩行者通交量の多いエリアとつなげて、駅前に留まっている人の流れを、**駅から南側へと少し大きな回遊を促す**ことをねらう。
- ③ 反対に、駅以外の方角からアクセスしてきた人を、**駅側へとつなげるような回遊を促す**こともねらう。
- ④ 駅の北側への展開については継続的に検討をする。



03 目指す将来像 | ビジョンの全体骨格

ここまでの内容と、次章で紹介するリーディングプロジェクト候補の関係を整理すると、下図のようになります。



04

実現に向けて

案01 舞鶴城公園南広場の居場所化プロジェクト

「行きたくなる」
をもっと

甲府らしい
ヒト・モノ・コト

行きやすく
回遊しやすく

舞鶴城公園南広場とその周辺を、駅から南側への回遊拠点として
ゆったりと過ごせる場にするために必要なしつらえや活動を考える



公民連携で実現したいこと

- 舞鶴城公園南広場を「日常的に行きたくなる」場所にする
- そのために、さまざまな人の多様なアクティビティを受け入れるような空間や機能を実現すること
- 甲府の重要な歴史文化が、まちなかの暮らしの一場面として愛着や誇りのきっかけとなること



関連イメージ



民間プレイヤーから出されたアイデア！

- 日陰やトイレ、十分な量の座れるスペースがあり、子連れでも気軽に憩える空間に！
- 広い芝生やお堀の水面、石垣など、この公園ならではの個性を楽しみ尽くす！



案02 オリオン界隈の居場所化 プロジェクト

「行きたくなる」
をもっと

甲府らしい
ヒト・モノ・コト

行きやすく
回遊しやすく

オリオン通り界隈を、人中心の空間として 行きたくなる/滞留したくなるしつらえや活動を考える



公民連携で実現したいこと

- ・ 人中心（自転車と歩き中心）のまちなかにすると共に、いままで以上に「わざわざ出向きたくなる場所」にすること
- ・ そのために、路上での滞留スペースの創出やイベント・出店、オープンカフェなど、甲府のまちなかの人たちの営みが表出し、立ち止まるきっかけをつくること
- ・ また、子連れでも安心して歩ける道をつくること



関連イメージ



路上空間を活用したイベントや出店など



民間プレイヤーから出されたアイデア！

- オリオン通り歩行者天国化！
- 簡易に組み立てられて、手続きも楽なポップアップスタンドの設置・貸出！
- 路上にストリートファニーチャーや植栽などを置いて賑やかに！



オリオン通り



通り沿いで仕事ができたり



オープンカフェで昼からワイン！

案03 中央公園の目的地化 プロジェクト

「行きたくなる」
をもっと

甲府らしい
ヒト・モノ・コト

行きやすく
回遊しやすく

中央公園を、若者にとって目的地となるような 場所にするために必要なしつらえや活動を考える

👉 公民連携で実現したいこと

- 中央公園が若者にとっての目的地となることで、甲府駅の南側に回遊の起点ができること
- 現状は喫煙者など利用者層に偏りがあるイメージがあり、それらのイメージを一新すること
- 結果的に幅広い年代の方にとって居心地が良い場所になること

📷 関連イメージ



💡 民間プレイヤーから出されたアイデア！

- ❑ 若者が自由に使いやすい、滞留しやすい広場に！
- ❑ スケートボードやバスケットボールなどのスポーツができる場所に！
- ❑ 定期的なマルシェやマーケットの場に！



案04 エリアリノベーションプロジェクト

「行きたくなる」
をもっと

甲府らしい
ヒト・モノ・コト

行きやすく
回遊しやすく

他のプロジェクトと合わせて、 リノベーションを集中的に連鎖させ、効果が高くなる手法を考える



公民連携で実現したいこと

- 単体のリノベーションではなく、連鎖的にリノベーションを推進したり、利活用が進んでいる公共空間の近隣でリノベーションを実施することで相乗効果を高め、エリア単位でのイメージ刷新を狙っていくこと
- エリアの価値を高めることが、新たな投資の呼水となること。



関連イメージ



外にも賑わいが滲み出すようなリノベーションの設計に

©ノミガワスタジオ



民間プレイヤーから出されたアイデア！

- 既存公共空間・施設のリノベーションや再開発を核とした周辺エリアの空き家・空き店舗活用の推進！
- 銭湯の事業継承のような、面白い空間と面白いプログラムの掛け合わせ！
- そこのエリア価値を高めていくための機能誘導や情報発信、公共空間活用等のエリアマネジメントの推進！



公共的施設のリノベーション



個店のリノベーション

案05 食／産直マルシェ プロジェクト

「行きたくなる」
をもっと

甲府らしい
ヒト・モノ・コト

行きやすく
回遊しやすく

甲府盆地周辺の生産者との関係性をつくり、 生産物の地域内循環促進や高付加価値化へ向けた活動を考える



公民連携で実現したいこと

- 甲府盆地周辺の多様な食をつくる生産者と、より密な関係性をつくること
- 生産物の地産地消の促進や、高付加価値化を達成し、生産者と消費者双方の満足度が高まること
- これらが結果として甲府外の方々に対しての魅力や訴求力にも繋がっていくこと



関連イメージ



甲府の食が身近に感じられるマルシェやイベントの開催



民間プレイヤーから出されたアイデア！

- 食と文化をテーマにしたマルシェの定期開催
- ヴィーガンや健康意識の高い方を狙ったファーマーズマーケットの開催
- 甲府の豊かな食を活かした「オーガニックな街」としての発信・ブランディングの強化



鮮度の高い果物がすぐに手に入る



オーガニックな街としての発信

案06 まち文化学校 プロジェクト

「行きたくなる」
をもっと

甲府らしい
ヒト・モノ・コト

行きやすく
回遊しやすく

甲府の手仕事を楽しく面白く学んだり伝えていく ための仕組みや取組みを考える



公民連携で実現したいこと

- 甲府の食やジュエリー、工芸などの手仕事や、より広くイラストやデザイン、DJなどの手を使った仕事を、もっと対内的にも対外的にも楽しく知ったり触れたりできるような状況にしてい
- そのために、まち全体が甲府の手仕事を学べたり、知れたりする学校のような場にしてい



関連イメージ



まちなかにいる粋な専門家から、手仕事文化を教わるプログラムも面白そう



民間プレイヤーから出されたアイデア！

- まちなかの粋な専門家から手仕事を学ぶプログラム！
- 職人の仕事の間近で見られるまちなかの工房づくり！
- 子どもたちが、職人の仕事を見学したり、体験したりできる等、学校と連携したプログラムづくり！



他都市では鞆の学校ができた



料理教室のように楽しく学びたい

案07 サーキュラーまちなかプロジェクト

「行きたくなる」
をもっと

甲府らしい
ヒト・モノ・コト

行きやすく
回遊しやすく

サーキュラー（循環型）なまちになっていくために 楽しく取り組める仕掛けづくりを考える

👉 公民連携で実現したいこと

- ・ 甲府の誇る自然や食、手仕事に対しても敬意を払い、次世代に対して、持続的に引き継いでいく社会をつくっていくこと
- ・ そのために、大量生産・大量消費・大量廃棄といった生活スタイルを改め、甲府のまちなかではサーキュラーなライフスタイルがとりやすくなっていくこと
- ・ 結果、これらが甲府のブランディングも繋がっていくこと

📷 関連イメージ



💡 民間プレイヤーから出されたアイデア！

- ❑ ゴミが出にくい、ゴミに配慮したイベントの企画・設計！
- ❑ 古着をはじめとしたモノのリユースやシェア等、まちなかに住む・訪れる人同士で取引やシェアがし合える仕組みづくり！
- ❑ 甲府まちなかの人たちが使う共通のデザイン性のあるマイタンブラーやエコバッグ等のグッズ開発！



案08 案内所／情報発信 プロジェクト

「行きたくなる」
をもっと

甲府らしい
ヒト・モノ・コト

行きやすく
回遊しやすく

顔の見える関係性をつくりやすい

人の温度が伝わりやすい、まち情報の発信に向けた活動



公民連携で実現したいこと

- ・ 中核市ならではの人と人の温かみがあって顔の見える関係性によるまちの情報の拡散をしていくこと
- ・ 地域のキーマンや名物店主など人を起点としたつながりをつくることで、甲府への愛着や魅力を高めていくこと
- ・ 対外的に訪れた方にとっても、知り合いが増え、また来たいと思ってもらえるようになること



関連イメージ



人の顔が見えるまちなかの関係案内所



民間プレイヤーから出されたアイデア！

- ❑ 甲府の多種多様なプレイヤーや店舗、銭湯などのおもしろい場所等が紹介されるマップづくり！
- ❑ そこに行けば、様々な甲府の人を紹介してくれる関係案内所づくり！
- ❑ これらの人たちの背景や仕事をより深く知れるメディア等の情報発信ツールの作成！



手触り感のあるマップ



まちのプレイヤーがわかるマップ

案09 回遊モビリティ プロジェクト

「行きたくなる」
をもっと

甲府らしい
ヒト・モノ・コト

行きやすく
回遊しやすく

まちなかへのアクセスやまちなか回遊を助ける モビリティやルート等の在り方を考える

👉 公民連携で実現したいこと

- まちなかの回遊性を高めるための、徒歩以上・自動車未満のモビリティがまちなかに導入されること
- これらを通して、人中心のまちなかを実現すると共に、まちなかの回遊性を向上させ、様々な場所を訪れやすくすること
- また、車交通を減らすことで、子どもも安心して歩けるまちなかを実現すること

📷 関連イメージ



まちなかを自由に移動できるシェアサイクルの導入

💡 民間プレイヤーから出されたアイデア！

- ❑ まちなかの至るところで借りられて、返却ができるシェアサイクルの導入！
- ❑ シェアサイクル等を用いた、まちなかを回遊・案内するツアープログラムの構築！
- ❑ ペロタクシー等、足の不自由な方でも回遊でき、かつ歩行者にとっても安全なモビリティの導入！



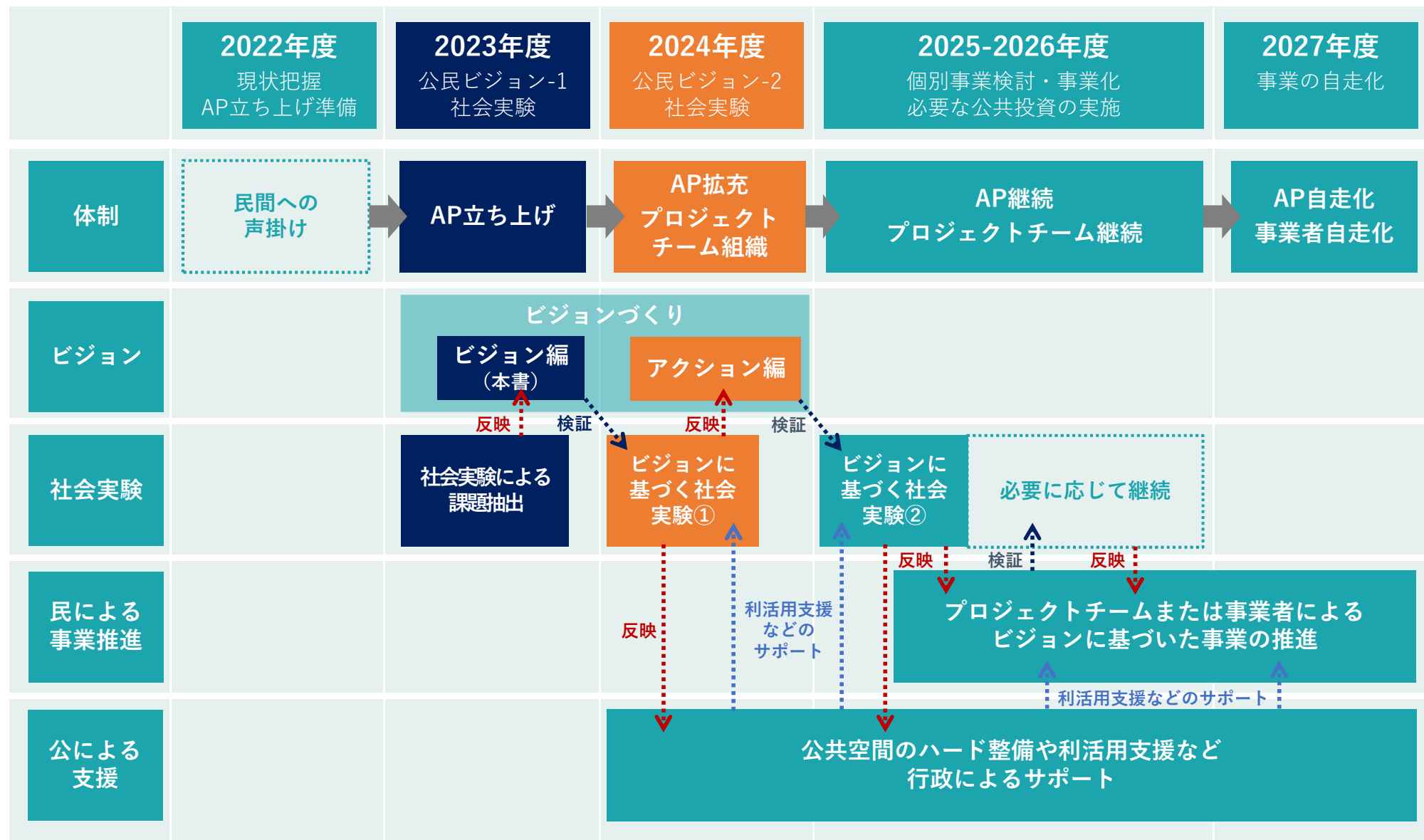
自転車を用いたツアーの構築



まちなかをすいすい走るペロタクシー

04 実現に向けて | 今後の事業スケジュール（想定）

2024年度はリーディングプロジェクト候補を具体化し、その効果や課題を調べるための社会実験を行います。その結果を整理して、アクション編としてビジョンへ反映することで、2ヶ年のビジョン策定はひとまず完了です。以降の事業推進・公共投資等へつなげていきます。



05

おわりに

おわりに、エリアプラットフォームのメンバーからみなさんへメッセージをお送りします。
ぜひ一緒に楽しみながら、甲府まちなかの未来をグッと面白く魅力あるものにしていきましょう！

生まれも育ちも郡内ですが職場のある中心市街地への思いは人一倍。毎日笹子峠を越えて、まさに『360°やまなし』を実践しながら、甲府の賑わい創出に努める心意気です。この貴重なプロセスを是非皆さんとご一緒に！



雨宮 潔
AMEMIYA KIYOSHI
株式会社岡島
甲府まちなかAP 会長

赤ちゃん連れでも安心して居られる場として、スープ屋を運営している一市民です。さまざまな事情を持つ街の人々が豊かに共存するには。移住や子育て、障がい福祉に携わる視点を持って、こちよいい街を目指したいです。



赤池 有花
AKAIKE YUKA
MARLU SOUP
KEIPE株式会社

「北口よっちゃばれ広場」を山日YBSは場所が近いこともあり「まえにわ」と親しみも込め呼んでいます（笑）。北口に限らず魅力的なイベントも増えてきました。甲府が好きだ！賑やかな街にしたい！皆で進めていきましょう！



平山 栄次
HIRAYAMA EIJI
株式会社アドブレン社

甲府に移住してカフェを営んでいます。いろんな方に助けをもらいながら、自分の好きなことをやっていく。自分なりに街にお返しする。甲府はそんな循環が可能な街。みなさんと一緒にワクワク出来ればと思います。



平野 真吾
HIRANO SHINGO
Fluunt KOFU

甲府の町は体の一部みたいなコトだと思っています。良いとか悪い、多い少ないの対象じゃなく。どんな事も『愛とユーモア』があれば大丈夫。



五味 仁
GOMI HITOSHI
五味醤油株式会社
甲府まちなかAP 副会長

一人ひとりの想いとアイデアで、まちづくりをいっしょにしてみませんか？甲府のまちなかエリアを人や自然、そして歴史文化がまざりあうワクワクする魅力的なエリアにしていきたい。



長沼 恵介
NAGANUMA KEISUKE
LLCまちづくり甲府

このビジョンの実現には、地域のみなさんの協力とエネルギーが不可欠です。甲府市中心市街地の活性化に向けて、一緒に素晴らしい未来を創りましょう！



越石 寛
KOSHIISHI HIROSHI
甲府商工会議所

歴史の積み重ね・自然の風景・営みの景観・それらを磨きがんばる人たち・甲府の街には魅力がたくさん詰まっています。魅力を見つけ活かして新しい楽しい街をみんなと一緒に創りたいですネ！



大山 勲
OHYAMA ISAO
山梨大学大学院総合研究部
甲府まちなかAP アドバイザー

山に囲まれたこの美しい甲府盆地のまちには、愛があふれる人、お店、会社、歴史がたくさん！その愛を盆地からいっばいにあふれさせて、最高のまちにしたいです。自分たちの街の未来を自分たちの手でつくりましょう！



宮川 史織
MIYAGAWA SHIORI
株式会社DEPOT
甲府まちなかAP 副会長

東京から甲府に移住した時、どの馬の骨とも知れない俺を街の人はあたたかく迎えてくれました。特に、帰り道に転んで肋骨を折った時、手を差し伸べてくれたあの人は誰だろうか。誰だとしても、俺もそういう人になりたいと思ってこのAPに参加しています。



宮沢 喬
MIYAZAWA TAKASHI
有限会社
VISUAL AND ECHO JAPAN

こどもの頃、初めて〇〇をした甲府のまち。そんな愛着のあるまちで、好きな人たちと、まちや人のためになるような仕事をする。そんな人たちが10人100人と増えたらこのまちの未来はもっと良くなると信じて、APに参画してくる仲間を待っています。



加藤 香
KATO KAORI
NPO法人bond place

甲府には、人の生活を感じられる、心地よい良い場所が少しずつ増えています。もしお気づきでないときは、まずは歩いて出かけましょう。それからもう一度このビジョンみてください。



佐々木 邦明
SASAKI KUNIAKI
早稲田大学理工学術院
甲府まちなかAP アドバイザー

甲府の街を何とか魅力的にしたい。愛着ある甲府をもっと大勢の人が集う街にしたい。意欲とアイデアいっばいのメンバーに感謝、そして、甲府の街中デザインをはじめましょう。



雨宮 正英
AMEMIYA MASAHIDE
山梨交通株式会社

金手駅の近くでCycleという古材と古道具のお店をしながら、地域資源が循環する甲府のまちづくりに貢献したいと考えています。一緒に甲府のまちを面白くする取り組みをしていきましょう！



渡辺 一博
WATANABE KAZUHIRO
CYCLE
KEIPE株式会社

移住してすぐに甲府は僕の大好きな第二の故郷になりました。週末になるたびに、今日はどこを楽しもうかな？とワクワクする街だなと思っています！



福崎 康平
FUKUZAKI KOHEI
株式会社イロリ

故郷である甲府のまちなかがどんどん楽しくなっていく気配をヒシヒシと感じ、とてもワクワクしています。“小盆地宇宙”甲府はもっともっと良くなるポテンシャルがある。みんなでより豊かな日常の暮らしを紡いでいきましょう！



新津 瞬
NIITSU SHUN
有限会社 ハートビートプラン
甲府まちなかAP アドバイザー

資料編

「甲府のまちなかの未来を作る上で今後も大切にしたいもの、変えたくないものは何か？」という問いに対し、下記のような観点が挙がっています。

甲府のまちなかの未来を作る上で今後も大切にしたいもの、変えたくないものは何か？

【人のつながりが強いこと】

- ・ 無尽をはじめとした、濃いコミュニティ

【多様性】

- ・ 色々な人がいること。夜の店も昼の店も楽しい、多様性がある
- ・ 受け入れる文化（人、モノ、コト）

【ゆるさ／挑戦しやすい環境／人通りがないからこそ】

- ・ 人や店の密度が高すぎないことによって、新しい人やコトの入り込む余地ができていることはよいこと

【個人経営の店が多い／自分でつくる】

- ・ 人が名物になる。人に会いにいける
- ・ 夜の飲み文化・路地横丁はお一人様でも楽しめる
- ・ 顔見知りに会う率が高い
- ・ 「自分で考えて欲しいものを自分でつくる」という考え方が浸透している

【イベントなどの催し／お祭り好きのマインド】

- ・ 現在もイベントは多いと思う
- ・ お祭りには乗り遅れまいとして、みんな集まってくる

【自然環境】

- ・ 自然、山、森、畑（ブドウ畑）、温泉、園庭より広い山
- ・ 温泉銭湯が市内に点在している

【自然環境に根ざした文化／クラフトカルチャー】

- ・ ワインを飲む文化や、地元食材の活用・食文化（ほうとう、フルーツ）
- ・ クラフトカルチャー（味噌蔵やブリュワリー、ほうとうのお店やコーヒーショップなど、食を中心とした手仕事のカルチャー）
- ・ 地場産業、宝飾、印伝

【路地／小さな個店群／夜の街】

- ・ 路地やあやしい店、ごちゃごちゃ感、はしご酒できる

【東京からの近さ】

- ・ 「日帰り好適地」と強みと捉えてはどうか。

【歴史】

- ・ お城がある。老舗が多い
- ・ 文豪ゆかりの場所が点在している
- ・ 古いもの、あるものを活かす

「甲府のまちなかの未来を作る上であえて変えてゆくもの、手放したいものは何か？」という問いに対し、下記のような観点が挙がっています。

甲府のまちなかの未来を作る上であえて変えてゆくもの、手放したいものは何か？

【古いままのマインドセット① 挑戦をしない】

- 土地・建物所有者の考え方が保守的・変化に後ろ向き
- チャレンジ精神や市民アイデアの取り込み不足
- 問題の根本解決をせず、同じことを繰り返している
- 歴史に囚われ過ぎることもあるが、それはNG
- 無関心・他人事。外注・丸投げ指向
- 口を出す、お金を出不さいリスクを取らない大人

【古いままのマインドセット② 排他的／連携不足】

- 内向き指向がある。自虐的価値観や、他者への排他性
- 不必要な所属バイアス（所属内に閉じて連携せずバラバラに活動する）がある
- 行政の縦割りがひどい

【まちなかで暮らす魅力やまちなかへ出る目的がない】

- まちなかで暮らすことの魅力がない
- 個店の魅力がない。買い物や飲食以外の魅力がない。老若男女の居場所づくりが必要
- 中高生が街まで出てこない。若者がつるむ場が必要
- 昼間のまちが寂しすぎる
- 自然の近さを生活の一部にもっと取り入れたい
- リビングのような、いろんな人が集まれる広場がない

【駅周辺再開発と駅南側の既成商業地のバラバラ感】

- 駅周辺と南側既成商業地のバランスやつながりが悪い。間の庁舎群エリアを開放し動線創出すべき

【適切に更新されていないハード】

- 古い「店舗兼住宅」が空き店舗再生の妨げに
- 都市部の建物更新の停滞
- 繁華街の無秩序な拡大
- サーキュラーエコノミーの考え方を取り入れたい
- まちづくりのビジョンがまったく感じられない

【車中心のまちなか】

- 人中心（自転車と歩き中心）のまちになってほしい
- 道でのイベントなどで立ち止まるきっかけをつくる
- 子連れで安心して歩ける歩行者専用の道が欲しい
- 無料の駐車場が無いので市街地に行きにくい

【厳しすぎる規制／緩過ぎる規制】

- 道路占用、広告物等、まちなかの規制が厳しすぎる
- 舞鶴城公園南広場を使いやすくしてほしい
- 景観ガイドラインはないので、つくるべき

【まちの情報発信が不足】

- まちの情報が得られる場所や媒体がない
- 散策マップがないので半日見て回ることができない

【甲府の外とのつながり方】

- インターネットの世界では場所に拘らなくていい。甲府の中だけでなく、外にも目を向けた方が良い

AP会議で議論してきた重点テーマについて一般市民等に投げかけたところ、それぞれ多くの共感/応援アクションが集まりました。今後もエリアプラットフォームでの議論や活動をオープンに共有し、市民の声/ニーズを引き出しながら取り組んでいきます。

戦略の柱① 「出かけたくなる」をもっと！

01

まちなかの余白を磨いて
居心地がよく
出かけたくなる場をつくる

ー 重点テーマ案「♡」数 ー

公園／広場
居場所化

オープン
ストリート

エリア
リノベーション



140



158



151

戦略の柱② 甲府らしいヒト・モノ・コト！

02

甲府らしいヒト・モノ・コト
の掛け合わせによる活動を
展開していく

ー 重点テーマ案「♡」数 ー

生産地との
関係創出

手仕事文化
の体験/継承

地域資源循環
の取り組み



99



77



62

戦略の柱③ 行きやすく&回遊しやすく！

03

まちなかへのアクセスや
回遊を改善する方法を
試行し定着させていく

ー 重点テーマ案「♡」数 ー

顔の見える
案内

回遊
モビリティ

クラフト
ツーリズム



76



106



87

※my groove上の意見募集（2/9-3/5）、はっこうマルシェ（3/2）、みち活チャレンジWEEK（3/4-10）での共感/応援アクションの合計（2024年3月時点）

my groove上でのコメント例

公園に子連れで気軽に行けるとありがたいです。オムツ替えができたり、ベビーカーで入れるトイレ、授乳室があるとかなり助かります。



車を気にせず道路が歩けるようになるだけで道路が居心地の良い空間になって、子どもも安心して遊べて、人も集まりやすくなり、ポジティブな面が多いように思います！



空き家、空き店舗活用を通して地域活性化する事に興味があります。4月からInstagramを開設し、外国の方を含む東京に住む若い方々と山梨とを繋ぐ活動を考えています。



昔レトボンってまちなかを回遊するバスがあったと思うのですが、あのようなサクッと乗れてサクッと移動できる乗り物があると良いと思います。自分が運転しなくても移動できればお酒も飲めるので嬉しい。



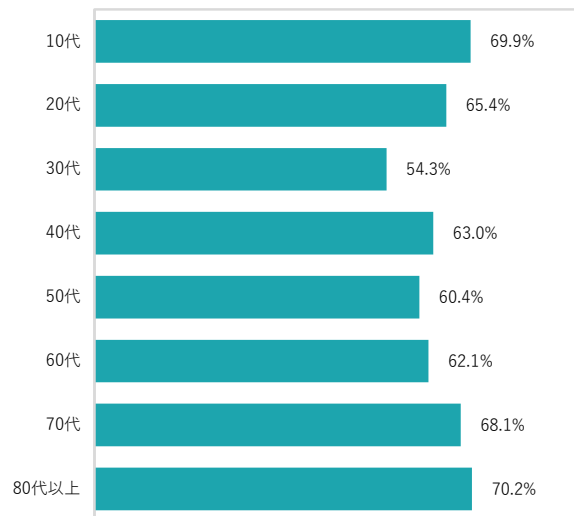
...

まちに愛着を持っている若い世代が「甲府に住み続けたい」と感じにくくなっているとすれば、とても悲しいことです。若い世代の声に耳を傾けるとともに、まちの将来と一緒に作っていく仲間としての関わりしるを伝えていくことも大事だと考えています。

まちに愛着がある若者は多い

若者の流出を嘆く声は多いですが、彼らがまちに愛着を持っていないわけではありません。10-20代でも7割近くが肯定的回答をしています。

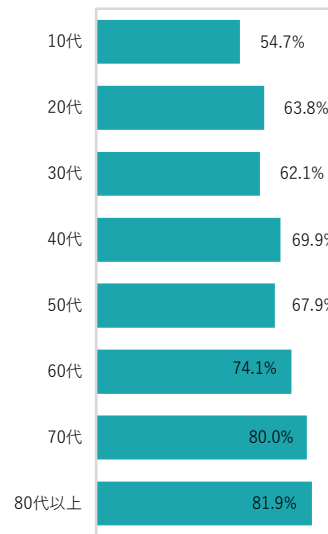
■まちに愛着を持っている人の割合



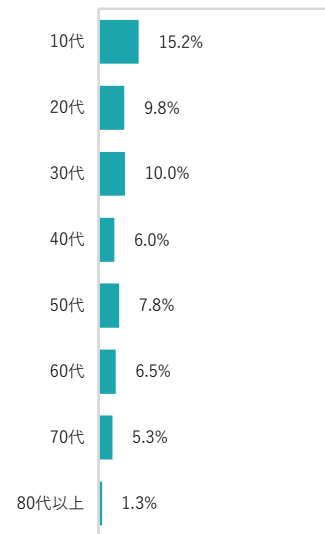
しかし住み続けたいかというと・・・

一方、今のまちに住み続けたい割合は若者が最も低い状況です。進学/就職等の事情もありますが、甲府は若者に選択されないまちで良いのでしょうか。

■住み続けたい人の割合



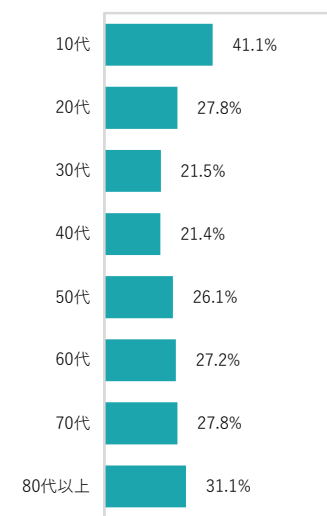
■市外へ転居したい人の割合



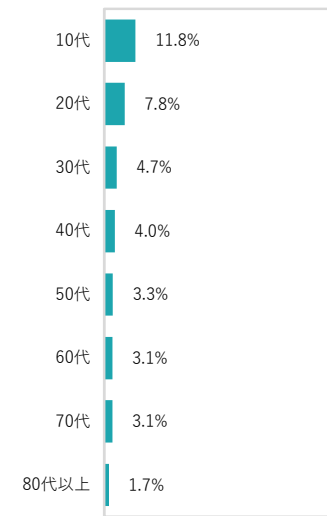
若者は関わりしるを求めている

まちの将来に対する関わりしるを最も求めている世代は10代です。やる気のある若者とともに未来を考えることで、機運を変えていきたいものです。

■まちの将来像を考えたり取り組みに参加したい人の割合



■自ら企画・立案できる環境を求める人の割合



■「今後地域であなたがやってみたいこと、実現したいこと」への回答例（10-20代）

将来、大人になって甲府市に帰ってきたいと思うような地域になったら良いなと思う。もっと簡単に行事に参加できるようなイベントをしてみたい。

喫茶店など良いお店を自身で探して、友達に教えて一緒に行くことが趣味。こういう取り組みがまちの経済や市の税収に良い流れを生むと考えている。

放課後に子供が興味に合わせて挑戦できる環境づくりをしてみたい。普通学校に通っているこどもの放課後デイサービスのようイメージ。

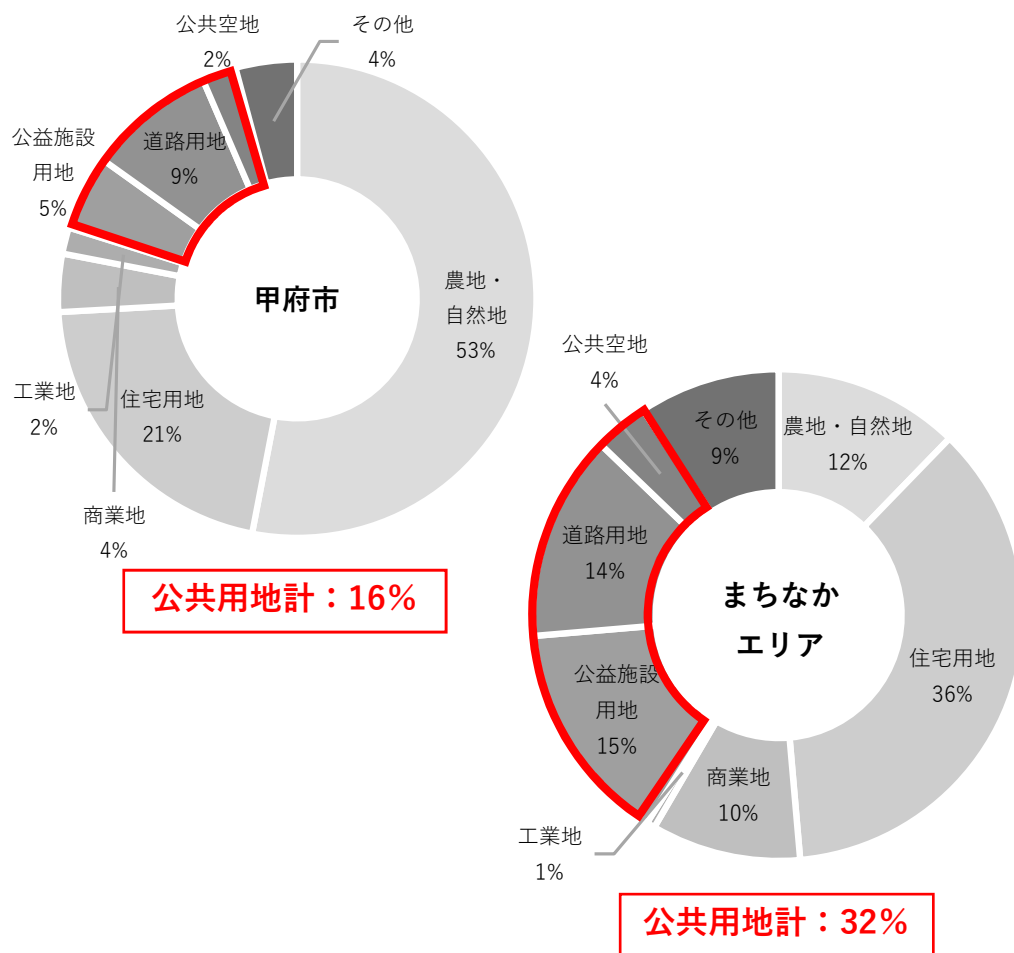
エンジニアとして、市民の生活の問題点を解決していけるような製品を作りたい。

...

甲府のまちなかは実は公共空間がたくさんあり、これらを民間が利用しやすくすることで様々な目的地/居場所づくりに役立てられる可能性があります。

公共用地が多いまちなかエリア

まちなかエリアは、甲府市全体と比べて公共用地（公益施設用地、道路用地、公共空地の計）の割合が多く、32%もあります。



近年も駅周辺の再整備が進んでいる

近年でも駅周辺で様々な公共的な空間整備が行われてきました。今後は各空間のさらなる魅力向上と、それによる日常的活用の促進が必要です。

	～H19	H20～24	H25～29	H30～R4
駅北口	● 甲府市歴史公園 甲府市シビックコア地区整備計画	● 北口駅前広場 ● よっちゃばれ広場 主要公共施設の建替え	● 甲州夢小路 ● 山梨県立図書館	駅南北を繋ぐ回遊導線整備 ● 駅斜行エレベーター ● 東京ガス横歩道設置 ● 橋東線歩道設置
		● ココリ再開発 ● オリオンスクエアリニューアル 再開発事業を契機とした高質空間整備	● 甲府市役所 ● 山梨県庁防災新館	● 南口駅前広場 ● 平和通り再整備 甲府駅南口周辺地域修景計画 ● デュオヒルズ甲府 ● かすがもーる グレードアップ ● エル西銀座 グレードアップ ● 弁天通り グレードアップ ● 裏春日通り グレードアップ 優建事業を契機とした高質空間整備
駅南口				

参考 甲府まちなかの空間活用 | エリアプラットフォームでの取り組み状況

エリアプラットフォームでは、まちなかの公共空間活用について、社会実験などを行いながら必要な環境整備の検討や気運醸成に取り組んでいます。今後も、市や県など関係者と連携し、より活用しやすい環境の実現を目指していく予定です。

道の活用について社会実験を実施！

2024年3月4日～10日、オリオン通りで自らのアイデアを路上で試せる社会実験を行政機関（甲府市、山梨県警）、まちづくり甲府、地元商店街、山梨中銀とも連携しながら実施！この社会実験を踏まえて、今後更に通りを使いやすくなるよう仕組みの整備などを検討していきます。

令和5年度甲府まちなか公共空間活用円滑化のための社会実験

みち活 チャレンジ WEEK

実施期間
2024年
3/4（月）～3/10（日）
参加申込メールは活用希望日の20日前まで

あなたのアイデアを、
オリオン通りで試してみませんか？

例えば…
ワークショップの開催
まちなかライブ
滞在空間づくり
などをまちなかで
やってみたい人を募集します！

「みち活チャレンジWEEK」とは？
甲府市では、甲府のまちなかエリアの魅力アップ・
エリア価値向上のため、令和5年から官民連携に
よる組織「甲府まちなかエリアプラットフォーム」
を立ち上げ、未来ビジョンづくりに取り組んでい
ます。（官民連携まちなか再生推進事業）
これから、公共空間を官民で活用しながらまちづ
くりをすすめていくため、市民のみなさんの公共
空間利活用のためのハードルを下げ、より使いや
すい環境をつくることを目指すものです。

- 公共空間の使い方を示した「甲府まちなかみち使いガイドブック」を配布！
- イス、テーブルなど公共空間使いこなしのための備品貸出！
- ガイドブックに沿った申請手続き等を甲府市地域デザイン課がサポート！

関連イベント開催
まちなかトーク
3/9 10:30-12:00
詳しくは特設ページで

お問合せ
甲府市企画財務部政策推進室地域デザイン課
tel:055-237-5060 e-mail:cdezin@city.kofu.lg.jp
まずはご相談ください！



相談から申請までスムーズにできた。
窓口になってくれた課にも相談がし
やすく、ガイドブック、情報集約さ
れたwebサイトなども揃っていたた
め問題なく実施できたと思う。

社会実験参加者（企画実施者）
コメント



以前はまちなかで買い物をしたあと、
旧岡島にあったイスで休んでから
帰っていたけど、いまはまちに休め
る場所がないので、ひと休みでき
るところがあるといいと思う。

利用者コメント



その他、いくつかの山梨県の公園（舞鶴城公園南広場、中央公園、丸の内公園など）
について県と情報交換を開始！

2024年度以降も継続協議

公民連携で策定する本ビジョンの推進に向けて、甲府市行政としても積極的に取り組んでいきます。行政の各種方針/計画等と齟齬が生じないように留意することはもちろん、よりよい関係をつくっていくことを目指し、必要な体制構築・庁内連携に取り組んでいます。

第六次甲府市総合計画

都市像：人・まち・自然が共生する未来創造都市 甲府

基本目標 2

魅力があふれる人が集う活力あるまちをつくる

主な施策：産業を振興する／交流と賑わいを創出する（中心市街地の活性化）

基本目標 4

自然と都市機能が調和する快適なまちをつくる

主な施策：豊かな自然と良好な生活環境確保／都市基盤の離縁性を高める

都市計画マスタープラン

将来都市構造：集約と連携による持続可能な都市構造

拠点・地区の位置付け

広域都市拠点

高次な都市機能が集約され、既存ストックを活かしながら、居住誘導を図るとともに、山梨県の政治、経済及び文化をけん引する拠点を目指す（甲府駅周辺）

ゾーンの位置付け

まちなかゾーン（エリア）

都市機能の高度化やまちなか居住を促進し、まちなかの賑わいを創出するゾーンを目指す（甲府駅を中心とした商業地域・近商地域）

施策

施策1 都市機能と居住の誘導
 施策2 中心街の魅力向上(甲府城周辺地域活性化実施計画の推進)
 施策3 歩いて暮らせるまちづくりの実現
 施策4 公共施設等マネジメントの推進
 施策5 遊亀公園・附属動物園における再整備と運営体制の構築
 施策6 空き家等の対策
 施策7 地域公共交通ネットワークの再構築

施策8 効率的・効率的な都市計画道路整備の推進
 施策9 防災意識を向上させ避難路沿道建築物の耐震化促進
 施策10 農業振興施策の推進
 施策11 産業の誘致と雇用創出に向けた支援
 施策12 産業立地を促す計画的な土地利用と支援
 施策13 自然共生社会と循環型社会の構築
 施策14 計画の保全と創出
 施策15 低炭素社会の実現

立地適正化計画

都市機能誘導区域

甲府駅周辺を核としたまちなかでは、多様な都市機能の集積と維持に努めることで魅力を高め、本市及び本県をけん引する拠点の再形成を促進し、県内外からの多様な交流による賑わいの創出を図る。

居住誘導区域

人口減少の中にあっても一定のエリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスや公共交通が持続的に確保されるよう、人口密度の維持や誘導を図る区域

中心市街地活性化基本計画

空き家対策計画

創業支援事業計画

甲府城周辺地域活性化基本計画

公共交通体系基本構想

産業ビジョン

公共施設総合管理計画

国土強靱化地域計画

景観計画

遊亀公園・附属動物園整備計画

農業振興計画

環境基本計画

各計画と本ビジョンの
 エリア設定に整合性を
 持たせました

本ビジョンと
 各種方針／計画等とで
 よりよい関係をつくっていく
 ことを目指します

甲府まちなか未来ビジョン 2024

企画・発行 甲府まちなかエリアプラットフォーム・甲府市
検討支援 株式会社Groove Designs・Neighverse株式会社
編集協力 株式会社DEPOT
Webサイト <https://mygroove.city/organizations/12/projects/22>



お問合せ先 甲府市 企画財務部 政策推進室 地域デザイン課
(甲府まちなかエリアプラットフォーム事務局)
〒400-8585 甲府市丸の内一丁目 18 番 1 号
電話：055-237-5060 Eメール：cdezain@city.kofu.lg.jp



甲府まちなか未来ビジョン 2024
KOFU MACHINAKA FUTURE VISION